

第3期岡山市教育振興基本計画

# 令和4年度アクションプラン



(令和3年度初任者研修講座にて)

岡山市教育委員会

## 目 次

1	岡山市が目指す教育	1
2	岡山市教育振興基本計画アクションプランについて	2
3	6つの政策と13の施策	3
4	主な事業	
(1)	クローズアップ	4
(2)	事業一覧	
政策1	主体的な学びの推進による確かな学力の育成	9
政策2	人や自然、文化との関わりを通じた豊かな心の育成	14
政策3	健康教育の充実による健やかな体の育成	20
政策4	一人一人の育ちを支える指導・支援の充実	23
政策5	学校園の教育環境の充実	27
政策6	家庭、地域社会の教育環境の充実	33
(3)	事業目標主要一覧	44

### <参考>

#### ○教育基本法（抜粋）

第十七条 政府は、教育の振興に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、教育の振興に関する施策についての基本的な方針及び講ずべき施策その他必要な事項について、基本的な計画を定め、これを国会に報告するとともに、公表しなければならない。

2 地方公共団体は、前項の計画を参酌し、その地域の実情に応じ、当該地方公共団体における教育の振興のための施策に関する基本的な計画を定めるよう努めなければならない。

## 1 岡山市が目指す教育

岡山市では、未来の希望である子どもたちが次代を生き抜いていくことができるよう市民協働による「自立する子ども」の育成を目指しています。「自立する子ども」とは、「自立に向かって成長する子ども」のことであり、豊かな人間性を身に付け、自分を高めるとともに、共に生きることができるように自分自身を確立していく子どものことです。

予測が困難で変化の激しい時代にあって、子どもが様々な変化に積極的に向き合い、多様な人々と協働しながら課題を解決していくことや、情報を活用したり、自分で考え、表現したりすることができる資質・能力を育むことが求められています。このような予測困難で変化の激しい時代だからこそ、子ども一人一人が将来それぞれの立場で社会に貢献し、自他の幸せを創造できるようになるため、「自らの個性を磨き、選択と挑戦を繰り返すことができる子ども」と、これまで大切に育んできた「自立に向かって成長する子ども」の姿を重ね合わせ、子どもの力を育んでいくことが大切であると考えています。

また、岡山市では、一人一人の生命と尊厳が守られ、それぞれの個性、能力を最大限に発揮できる家庭、学校園、地域社会の実現を目指しています。そのため、人権感覚を育成するとともに、社会の一員として主体的に自分の役割を果たす子どもを育て、これからの社会に生きる子どもたち一人一人が活躍し、豊かで安心して暮らせる社会を実現していくことができるようにすることが重要です。そして、多様化・複雑化する人権問題に対し、問題点を正しく見極め判断できる資質・能力や、互いの多様性を認め、人権を尊重する態度を子どもたちが身に付けられるようにし、課題解決の実践力をもった子どもの育成を目指します。

こうした教育理念のもと、中学校区を単位として、目指す子ども像を共有し、発達段階に応じて就学前教育から中学校教育等までの指導方針を一貫させて取り組む「学校園一貫教育～岡山型一貫教育～」を、縦のつながりとして推進します。また、保護者や地域住民等が学校運営に参画し、協働で子どもたちの豊かな学びと育ちを実現するための仕組みである「岡山市地域協働学校」を、地域ぐるみで学校園を支える仕組みである地域学校協働活動との連携と合わせて、横のつながりとして推進します。

さらに、E S D を学校園全体で計画的に取り組むとともに、地域等との連携の視点を大切にしながら、S D G s（持続可能な開発目標）の視点を踏まえた教育を推進し、その中で、探究的な学習過程を重視した学びを充実させ、子どもたちが社会にある身近な問題を「自分の問題」として捉え、社会をより良いものにしていくこと、人間としてより良く生きることを学んでいくことができるよう、未来へつながる教育を推進していきます。

### 自立に向かって成長する子ども

自らの個性を磨き、選択と挑戦を繰り返すことができる子ども

自分を高める

豊かな人間性

共に生きる

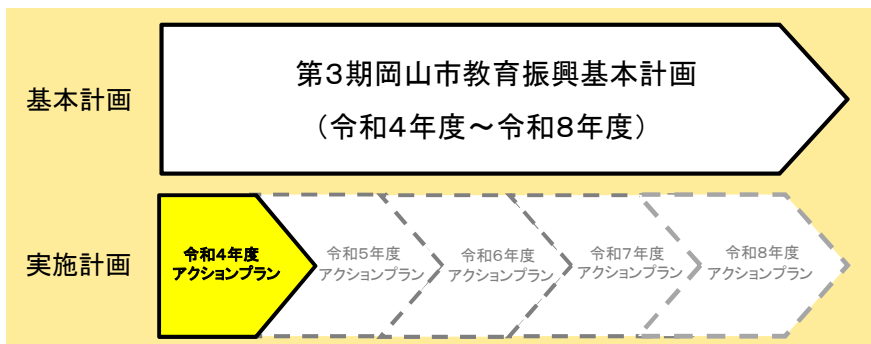


## 2 岡山市教育振興基本計画アクションプランについて

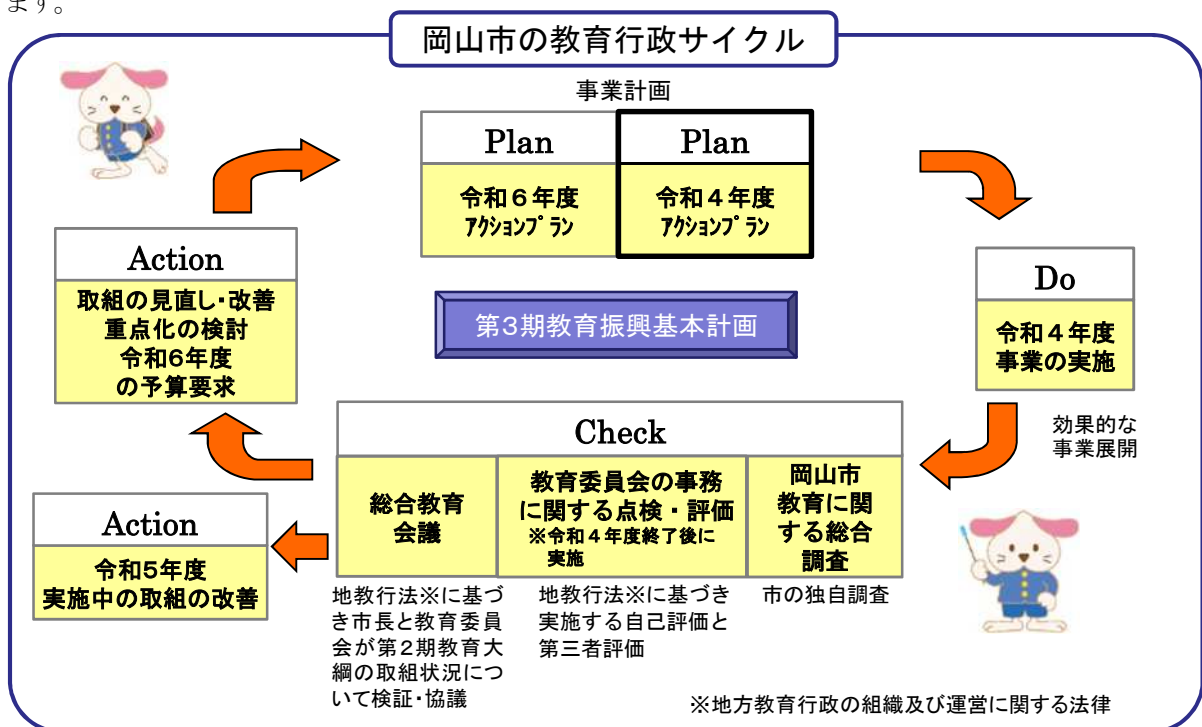
岡山市では、教育基本法第17条第2項の規定に基づき、令和4年度から8年度までの5年間の教育理念や目指す教育とともに、各政策・施策の方向性の概要を簡潔にまとめた「第3期岡山市教育振興基本計画」を策定しました。

本アクションプランは、第3期教育振興基本計画に掲載した各施策を実現するための、単年度の実施計画として事業の具体的な取組をまとめています。

子どもを取り巻く環境の変化は激しく、多様化・複雑化しています。また、新型コロナウイルス感染症等、日々変化する状況もあります、そのため、柔軟に対応できるようにするとともに、関係局との連携を図りながら効果的に施策を推進します。



第3期教育振興基本計画推進のために実施する施策については、毎年度実施している教育委員会の事務に関する点検・評価において、外部評価委員による第三者評価を実施し、その結果を議会に提出するとともに広く市民に公表します。また、第2期教育大綱に示された取組状況については、総合教育会議において、市長と教育委員会が検証・協議を行います。こうしたことを通して、PDCAサイクル【計画（Plan）－実行（Do）－評価（Check）－改善（Action）】による成果の検証と計画の効果的な見直しを行います。





「中学校区を単位とした学校園一貫教育～岡山型一貫教育～」と「岡山市地域協働学校」を2つの柱として  
**6つの政策で自立に向かって成長する子どもを育成します**



## 4 主な事業

### (1) クローズアップ

目指す子どもの育成に向けて、令和4年度に特に重点的に取り組むことについて紹介します。

「自立に向かって成長する子ども」を、第2期岡山市教育大綱で示された「自らの個性を磨き、選択と挑戦を繰り返すことができる子ども」と重ね合わせ、6つの政策を推進します。

6つの政策における重点的な取組

#### 政策1

##### 主体的な学びの推進による確かな学力の育成

- 発達段階に応じた継続的な学習指導・支援
- 情報活用能力や英語力の向上
- 基礎・基本の定着を図る支援や学ぶ機会の充実

#### 政策2

##### 人や自然、文化との関わりを通じた豊かな心の育成

- 道徳教育の充実
- 文化や自然体験の充実
- キャリア教育の推進

#### 政策3

##### 健康教育の充実による健やかな体の育成

- 日常的で自発的な運動習慣の確立
- より良い食習慣の定着を図る食育の推進

#### 政策4

##### 一人一人の育ちを支える指導・支援の充実

- 個に応じた支援と集団づくりの充実
- 関係機関との連携による支援体制の充実

#### 政策5

##### 学校園の教育環境の充実

- 教職員の資質・能力に資する研修の充実
- 学習環境・安全に配慮した教育環境の整備
- 多様な学びの機会と質の高い教育を目指すためのICT等の整備

#### 政策6

##### 家庭、地域社会の教育環境の充実

- 学校運営協議会の役割の理解促進と協議会の活性化
- 学校運営協議会との連携による地域学校協働活動の活性化

#### 事業の一部を紹介します！

##### 魅力ある授業づくり推進事業

学力調査や質問紙調査を効果的に活用して学習指導と生徒指導の両面から児童生徒を理解し、よりよい授業づくりを進めることで、子どもの力を育成します。

- ・学びづくり推進プロジェクト
- ・英語教育推進事業

##### 問題行動等の防止及び解決に向けた総合支援事業

支援を必要とする子どもやその保護者に対して相談や援助を行うことで、子どもたちが安心して学校生活を送ることができるようにします。

- ・生徒指導関係事業
- ・特別支援教育支援員配置事業
- ・不登校児童生徒支援員配置事業
- ・スクールカウンセラー配置事業

##### GIGAスクール構想によるICT活用支援事業

GIGAスクール構想で整備した1人1台端末等、ICTの円滑な活用が行われるようにするための人的支援や運用支援を行い、子どもの情報活用能力向上を図ります。

- ・ICTを基盤とした情報活用能力向上事業
- ・ICT活用指導力向上事業
- ・ICT環境整備事業

##### 地域と学校協働活動推進事業

「地域未来塾」の取組によって、小中学生を対象に、地域住民の協力による学習支援を行うことで、子どもと地域の大人がつながる場をつくるとともに、地域全体で地域の将来を担う子どもの力を育成します。

## 第2期岡山市教育大綱

### 育む5つの力



情報を収集して、解釈したり活用したりする力



自分の思っていることや考えたことを、他者に分かりやすく伝える力



何事に対しても、粘り強く取り組み、乗り越える力



立場や意見が違う相手とも協力し、より良いものにしようとする力



命を大切に、自他の人権を尊重し、お互いの個性を認め合う心、他人を思いやる心

### 5つの力の基礎としての2つの目標

全国平均レベル以上の学力

新規不登校児童生徒の減少

目指す子ども

自立に向かって成長する子ども  
自らの個性を磨き、選択と挑戦を繰り返すことができる子ども

## (2) 事業一覧

施策ごとに、令和4年度の主な事業を紹介します。

★:新規事業   ◎:拡充事業

### 政策1 主体的な学びの推進による確かな学力の育成

P.9

#### 施策1-1 一貫した学びの推進

##### ◆ 子どもの実態や学びに係る調査をもとにした授業改善による学力の育成

- ◎学びづくり推進プロジェクト P.9
- 英語教育推進事業 P.9
- 教育課題別研究事業 P.10
- 特色ある学校教育推進事業 P.10

##### ◆ 生きる力の基礎を培う就学前教育の充実

- 就学前教育の充実 P.10
- 習熟度別サポート事業 P.11
- 岡山っ子スタート・サポート事業 P.11

#### 施策1-2 豊かな学習資源の活用推進

##### ◆ ICTや図書資料等の活用の推進

- 図書資料等の活用推進 P.12
- ◎ICTを基盤とした情報活用能力向上事業 P.12

##### ◆ 地域の人に支えられ学ぶ機会の充実

- 学校支援ボランティア事業 P.13

### 政策2 人や自然、文化との関わりを通じた豊かな心の育成

P.14

#### 施策2-1 思いやりの心や規範意識、向上心の育成

##### ◆ 学校園における道徳教育の充実

- 心豊かな子どもの育成事業 P.14

##### ◆ 豊かな心を育むための文化体験の充実

- オリエント美術館体験講座 P.14
- 岡山市ジュニアオーケストラ運営事業 P.15

##### ◆ 豊かな心を育むための自然体験の充実

- 犬島自然の家における体験プログラムの充実 P.15
- めだかの学校における体験展示の充実 P.15
- わくわく探険隊 P.16

##### ◆ 自ら学び、自ら考える人間を育てる子ども読書活動の推進

- 子ども読書活動の推進 P.16

##### ◆ 自らの将来を切り拓く力を育むキャリア教育の推進

- 岡山キャリアスタートウィーク事業 P.17

#### 施策2-2 岡山を愛する心と国際感覚の育成

##### ◆ 親しみがもてるような文化財の保存整備・活用の推進

- 文化財及び埋蔵文化財の発掘調査成果の活用 P.18
- 史跡公有化の推進 P.18
- 史跡保存整備事業 P.18

##### ◆ 美術館の活用による文化力の発信

- オリエント美術館特別展等の開催 P.19
- オリエント美術館と県立美術館等との共同事業 P.19

##### ◆ 持続可能な社会づくりに向けたESDの推進

- ESDに係る地域と連携した取組の推進 P.19

## 政策3 健康教育の充実による健やかな体の育成

P.20

### 施策3-1 体力づくりの充実と安全教育の推進

- ◆ **体力・運動能力の向上を目指した運動習慣の確立と健康の保持増進**
  - 運動習慣定着化事業 P.20
  - 学校保健事業 P.20
- ◆ **健やかな成長を促すための安全教育の充実**
  - 実践的安全教育総合支援事業 P.21
  - 子どもの命を守る取組の推進 P.21
  - 防災キャンプ推進事業 P.21

### 施策3-2 食育の推進

- ◆ **健全な食習慣の形成を目指した学校園における食育の充実**
  - 学校給食における食育の推進 P.22
  - 客観的な数値を活用した食育事業 P.22

## 政策4 一人一人の育ちを支える指導・支援の充実

P.23

### 施策4-1 一人一人を大切に集団づくりの推進

- ◆ **一人一人の子どもの個々の状態に合わせた支援による集団づくりの充実**
  - 生徒指導関係事業<総合支援\*> P.23
- ◆ **落ち着いた教育環境をつくるための学校園の体制の充実**
  - スクールカウンセラー配置事業 P.23
  - 不登校児童生徒支援員配置事業<総合支援\*> P.24
  - 教育支援アドバイザー配置事業 P.24
  - 就学援助事業 P.24
- ◆ **問題行動等の未然防止及び早期解決のための取組の充実**
  - いじめ専門相談員派遣事業 P.25
  - 問題行動等対策事業<総合支援> P.25

\* 総合支援…問題行動等の防止及び解決に向けた総合支援事業

### 施策4-2 一人一人の課題に応じたきめ細かな支援

- ◆ **支援や配慮を必要とする子どもが安心して学校生活を送るための支援体制の充実**
  - 共に生きる子どもを育てる障害児支援事業 P.26
  - 日本語指導支援員派遣事業 P.26

## 政策5 学校園の教育環境の充実

P.27

### 施策5-1 教職員の資質・能力の向上と支援体制の充実

- ◆ **教育力向上のための優秀な人材の確保**
  - 魅力ある教員の確保事業 P.27
- ◆ **教職員研修や教育研究の取組を通じた教職員の資質・能力の向上**
  - 学校園における人権教育の充実 P.27
  - 教職員研修事業 P.28
  - OJT若手教員育成支援プロジェクト P.28
  - 英語指導力向上のための研修プログラム P.28
  - 教職員の力量を高める教育研究事業 P.29
  - ICT活用指導力向上事業 P.29
- ◆ **教職員への支援体制の充実**
  - 学校問題解決サポート事業 P.29
  - 学校業務アシスト事業 P.30
  - 部活動指導員配置事業 P.30
  - 学校給食費の公会計化 P.30



## 施策5-2 安全・安心で快適な教育環境の整備

### ◆ ICT環境や学校図書館などの充実

- 学校図書館の充実 P.31
- ◎ICT環境整備事業 P.31

### ◆ より良い学習環境・学校生活に配慮した施設の整備による教育環境の充実

- 学校施設長寿命化改修事業 P.32
- 義務教育学校施設整備事業 P.32
- ★学校空調設備整備事業 P.32
- ★学校給食施設整備事業 P.32

## 政策6 家庭、地域社会の教育環境の充実

P.33

### 施策6-1 家庭の教育力向上への支援

#### ◆ 家庭教育や子育て支援の充実

- PTAにおける人権教育の充実 P.33
- スクールランチセミナーの充実 P.33
- 家庭教育支援事業 P.34
- 絵本の読み聞かせ事業 P.34
- 子育て支援「のびのび親子広場」事業 P.34

### 施策6-2 地域社会の教育環境の充実

#### ◆ 生涯にわたって学び続ける機会と場の充実

- ◎インターネット予約図書事業 P.35
- 図書館業務システム活用による市民サービスの向上 P.35
- 連携中枢都市圏図書館相互利用 P.36
- 公民館ESD・SDGs活動推進事業 P.36
- 公民館運営事業(公民館基本方針の推進) P.37
- 新成人の集い事業 P.37

#### ◆ 地域社会での健全な子どもの育成とその推進のための指導者育成の充実

- 子ども会リーダー・育成者研修事業 P.38
- 放課後子ども教室推進事業 P.38
- わくわく子どもまつり P.39

#### ◆ 生涯学習環境の充実・整備

- 公民館建設・整備事業 P.39
- 図書館施設の改修及び修繕 P.40
- 郷土資料の保存と活用 P.40
- 夜間教室運営事業 P.40
- ★夜間中学設立準備検討事業 P.41
- ★岡山中央中学校区公民館建設事業 P.41

### 施策6-3 家庭、学校園、地域社会の協働体制の確立

#### ◆ 地域協働学校及び地域学校協働活動の活性化

- 地域協働学校の活性化と学校評価の充実 P.42
- 地域と学校協働活動推進事業 P.42

#### ◆ 市民協働による人づくりを推進するための広報広聴活動の充実

- 広報広聴活動の充実事業 P.43

※事業一覧の見方

事業名	<span data-bbox="539 185 810 271">&lt; &gt;内は、事業群名</span>	担当課	予算額 (千円)	R4年度 当初予算額
<span data-bbox="140 344 328 394">事業の概要</span>	<span data-bbox="438 371 1091 416">事業の内容について簡潔に記載しています。</span>			
<span data-bbox="140 528 328 577">現状と課題</span>	<span data-bbox="438 524 1098 622">第3期教育振興基本計画の「現状と課題」を踏まえて、事業のこれまでの取組、成果、課題等の中から、特徴的なことを記載しています。</span>		<span data-bbox="1136 533 1460 631">前年度からのつながりを「新規」「継続」「拡充」の区分で表しています。</span>	
<span data-bbox="140 696 328 770">今年度の重点</span>	<span data-bbox="438 685 1098 808">教育大綱で示された「5つの力」、「2つの目標」とのつながり、第3期教育振興基本計画の「施策の方向性」を踏まえて、今年度の事業の重点について記載しています。</span>			
<span data-bbox="156 860 312 898">他局との連携</span>	<span data-bbox="438 853 1091 913">他局と連携している場合は、その内容について記載しています。</span>			

## 政策1

## 主体的な学びの推進による確かな学力の育成

### ■ 施策1-1 一貫した学びの推進

#### 施策の方向性

- 「中学校区を単位とした学校園一貫教育～岡山型一貫教育～」をさらに進め、就学前教育から中学校教育等までの発達段階に応じた継続的な学習指導や支援を充実します。
- 主体的・対話的で深い学びの実現を目指し、探究的な学習活動を取り入れたり、子ども同士が考えたことや伝えたいことを表現したりするなど、学んだことを次の学びや生活に生かす資質・能力を育む授業や、グローバル化等に対応した英語教育等の充実を図ります。

#### ◆ 子どもの実態や学びに係る調査をもとにした授業改善による学力の育成

事業名	学びづくり推進プロジェクト	担当課	指導課 幼保運営課	予算額 (千円)	81,000
事業の概要	・ 「子どもが輝く学びづくりプロジェクト」の実施を軸とした「岡山型一貫教育」の推進 ・ 全国学力・学習状況調査、岡山っ子アセスの結果を分析・活用した授業改善の推進 ・ 指導者用デジタル教科書の導入によるICTを効果的に活用した授業改善の推進				拡充
現状と課題	全国学力・学習状況調査では、身に付けた知識を関連付けて答えを導き出したり、考えの理由を明確にして説明したりすることが十分とは言えない状況である。そこで本事業では、全国学力・学習状況調査等の結果から分かる学びに係る課題の解決に向けて、指導主事が学校を訪問し、指導助言などを行うことによりさらなる授業改善を推進していく必要がある。				
今年度の重点	全国学力・学習状況調査や岡山っ子アセスの結果の分析等を活用し、探究的な活動を取り入れた保育・授業や、子ども同士が考えたことや伝えたいことを表現する保育・授業を通して、活用力や表現力を育成できるようにする。				

事業名	英語教育推進事業	担当課	指導課	予算額 (千円)	185,200
事業の概要	・ 教師の指導力・英語力向上 指定校による公開授業及び文部科学省調査官を招いての講義を実施する。 特色ある教育推進校による公開授業研究会を実施する。 英語担当教員の英語力向上事業を実施する。 ・ 教育環境の充実 外国語指導助手(ALT)を配置する。(民間派遣ALT42人、JET-ALT3人)				継続
現状と課題	多文化理解の促進と英語によるコミュニケーション能力の育成に向けて、小中学校へ外国語指導助手(ALT)を配置し、子どもたちが英語を使う教育環境の充実を図るとともに、公開授業研究会等や英語担当教員英語力向上事業により教員の指導力及び英語力の向上を推進してきたが、生徒の英語力については、依然として目標である50%を下回る状況が続いていることから、改めて学習指導要領の趣旨を踏まえた授業改善と子どもが英語を使ってコミュニケーションを図る機会の充実を図る必要がある。				
今年度の重点	子どもが授業の中で英語を使って表現する機会を増やしたり、教員の指導力向上のための研修を進めたりすることで、グローバル化の進展する社会でより良く生きていくために必要な英語力を育成できるようにする。				
他局との連携	国際課との共催により、岡山市と国際友好交流都市(6都市)との間で隔年で子どもを派遣し、国際交流を推進する。				

事業名	教育課題別研究事業	担当課	教育研究研修センター	予算額(千円)	343
<b>事業の概要</b>	岡山市の教育課題を取り上げ、2年間で単位的に、研究協力校とともに効果的な指導方法等について研究する。				継続
<b>現状と課題</b>	学習指導要領の趣旨、全国学力・学習状況調査等を基に、令和2・3年度は、「カリキュラム・マネジメントの充実」を教育課題として取り上げ、年間指導計画等の見直しや授業改善を図ることができるよう研究に取り組んできた。 研究成果をまとめ、研修講座で活用する等、研究内容の周知を行ってきたが、今後は、岡山市立学校全体に研究の成果を浸透させていく必要がある。				
<b>今年度の重点</b>	教員がICTを効果的に活用し授業改善を図ることで、子どもに活用力及び表現力等の資質・能力を育成することができるようにするため、令和4・5年度は「ICTの効果的な活用」を教育課題に取り上げ、研究に取り組む。				

事業名	特色ある学校教育推進事業	担当課	指導課	予算額(千円)	9,249
<b>事業の概要</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国の最新かつ専門的な情報を基に授業改善を図る教育課程説明会の実施</li> <li>ESDの推進に向けたESDに係る地域と連携した取組の実施</li> <li>「小学校音楽会」「中学校音楽の集い」「岡山市中学校総合文化祭」の開催支援</li> </ul>				継続
<b>現状と課題</b>	教育課程研究協議会や教育課程説明会において、学習指導要領の趣旨を踏まえた授業改善の推進や子ども及び地域の実態を踏まえた教育課程編成、カリキュラム・マネジメントの推進を図ったことにより、授業や教育課程編成の改善及び充実が図られつつある。 しかし、岡山市立学校全体に学習指導要領の趣旨を踏まえた授業改善や教育課程編成について浸透させていくことについては課題が残る。				
<b>今年度の重点</b>	学習指導要領の趣旨を踏まえた授業改善を市内の学校に浸透させ、「指導と評価の一体化」を一層図ることにより、活用力や表現力を育成できるようにする。				

#### ◆ 生きる力の基礎を培う就学前教育の充実

事業名	就学前教育の充実	担当課	幼保運営課	予算額(千円)	88
<b>事業の概要</b>	<p>保育園・幼稚園・認定こども園の教職員を対象にした合同職員研修等を通し、就学前教育の充実に向けた保育改善を推進する。</p> <p>公私立園と小学校の教職員を対象にした連携研修等を通し、就学前教育と小学校教育の円滑な接続に向けた教職員の指導力の向上を図る。</p>				継続
<b>現状と課題</b>	合同研修により、保育園・幼稚園・認定こども園の教職員が共に保育の質の向上を目指し、学ぶことで、保育改善につながってきている。今後は、教職員一人一人が、主体的・対話的で深い学びの理解を深め、就学前の学びを小学校以降の学びにつなげ、円滑な接続を図ることが必要である。				
<b>今年度の重点</b>	合同職員研修等で、就学前教育において育みたい資質・能力について理解を図り、園全体で共有できるようにする。また、公私立園と小学校教員が参加する連携研修等を通して、幼児期から児童期への子どもの育ちや学びについて理解を深め、接続や連携のさらなる工夫につなげる。				



◆ **学習や生活の基礎・基本の定着を図るための支援**

事業名	習熟度別サポート事業	担当課	教職員課	予算額 (千円)	38,817
<b>事業の概要</b>	子ども一人一人の学力向上を目指し、小学校2年生から6年生の算数や国語の授業において、10人未満の小さな集団による習熟度別授業や、家庭学習につなげるための放課後学習指導を行うことができるよう習熟度別サポーターを配置する。				継続
<b>現状と課題</b>	全国学力・学習状況調査や岡山っ子アセスの結果をもとに、学校ごとの授業改善は進んでいるが、身に付いた知識を関連付けて答えを導き出したり、考えの理由を明確にして説明したりすることが十分とは言えない状況である。そこで、本事業では平成21年度から、落ち着いた環境で、個々の実態に合った授業を受けることができるよう習熟度別サポーターを配置しているが、今後も継続し、個々の課題に応じた指導を実施したり少人数での発言しやすい雰囲気づくりを重視した授業づくりをしたりする必要がある。				
<b>今年度の重点</b>	少人数指導という特徴を生かして、子ども同士が考えたことや伝えたいことを表現しやすい授業をとおして、自分の思いや考えを他者に伝える表現力を育成できるようにする。そのために習熟度別サポーターを配置する。				

事業名	岡山っ子スタート・サポート事業	担当課	教職員課	予算額 (千円)	132,683
<b>事業の概要</b>	小学校生活の円滑なスタートを切るとともに、学習及び生活の規律の確かな定着が図られるように、小学校1年生に対し、年間を通じて生活指導や学習指導に当たる教育支援員を配置する。				継続
<b>現状と課題</b>	全国学力・学習状況調査や岡山っ子アセスの結果をもとに、学校ごとの授業改善は進んでいるが、身に付いた知識を関連付けて答えを導き出したり、考えの理由を明確にして説明したりすることが十分とは言えない状況である。平成25年度から教育支援員を配置し、生活・学習指導の支援に当たることで、小学校生活の円滑なスタートを切ることができるように事業を進めてきたが、今後も継続して配置し、小学校での学習に取り組む姿勢の素地づくりを進めていく。				
<b>今年度の重点</b>	就学前教育から小学校教育の円滑なスタートを切ることができるように、年間を通じて生活指導や学習指導の支援をすることで、教育大綱で示された「5つの力」を育成しやすい授業づくり、学級づくりにつなげる。そのために教育支援員を配置する。				

## ■ 施策1-2 豊かな学習資源の活用推進

### 施策の方向性

- 地域人材を効果的に活用して探究的な学習を進めるなど、学校園だけでなく、家庭や地域社会と連携して子どもの豊かな学びを育む教育活動を進めます。
- 情報活用能力など、今後、子どもに必要な資質・能力を育成するために、ICTや図書資料等を効果的に活用する授業の推進を図ります。

### ◆ ICTや図書資料等の活用の推進

事業名	図書資料等の活用推進	担当課	指導課	予算額 (千円)	—
事業の概要	学習活動における図書資料や統計資料、新聞、視聴覚教材や教育機器などの教材・教具の活用を推進する。				継続
現状と課題	学習活動での図書資料等の活用としては、授業者が、副教材である資料集に掲載された統計資料や新聞を使ったワークシート、テレビ番組やDVD等の視聴覚教材を活用したり、学校司書が各学校の教育課程に合わせて整備した図書資料を活用したりすることが行われている。今後は、教室等で学習活動をする際に、1人1台端末などのICT環境を利用して得たインターネット上の情報と図書資料等を併せて有効に活用していく必要があると考える。				
今年度の重点	司書教諭・学校司書・授業者等が連携し、授業等で図書資料等が有効に活用できるように、各教科の年間指導計画や学校図書館運営計画(経営計画)を見直し、子どもたちが自らの課題を解決するために必要な知識を習得し、情報を活用する能力を育成する。				

事業名	ICTを基盤とした情報活用能力向上事業	担当課	教育研究研修センター	予算額 (千円)	8,213
事業の概要	中学校区ごとの「情報活用能力育成カリキュラム」をもとにした、学習活動におけるICT活用を促進する。 著作物を扱った教材・資料等のデータ送信を可能とするために必要な制度への一括的な対応を行う。				拡充
現状と課題	国のGIGAスクール構想により、1人1台端末などのICT環境整備を行っているが、授業等でのICT活用については、その内容や頻度に学校間で差があると認識している。本事業では、これまで中学校区ごとで作成してきた「情報活用能力育成カリキュラム」をもとに、計画的かつ系統的な指導の充実が図られるようにしていくとともに、より効果的なICT活用が全校で展開されるようにしていく必要がある。				
今年度の重点	「情報活用能力育成カリキュラム」に関連した計画的な授業実践や、端末の持ち帰りによるICTを活用した家庭学習の充実を図ることで、子どもの情報活用能力(情報モラルを含む)を育成していく。特に、子どもが問題解決のために主体的にICTを活用していく力や、自分の考えを相手に伝えるためにプレゼンテーションなどで分かりやすく表現していく力を身に付けることができるようにする。				

◆ 地域の人に支えられ学ぶ機会の充実

事業名	学校支援ボランティア事業	担当課	生涯学習課	予算額 (千円)	6,645
<b>事業の概要</b>	<p>地域住民や学生がボランティアとして学校園へ入ることにより、学校教育や地域の活性化を図り、ボランティア活動を通じた地域の教育力の向上を図る。            学生ボランティアに対しては、大学等から活動先までの距離に応じて交通費相当額の補助を行い、継続的な活動や周辺部の学校園での活動を促進しているほか、「学生シンポジウム」等の開催により、ボランティア参加に対する意識の高揚や、資質の向上を図っている。</p>				継続
<b>現状と課題</b>	<p>「学校内外の人材の活用により子どもの総合的な学力が伸びてきている」と答えた保護者の割合は8割近くに達しており、学校支援ボランティアは授業等の学力向上に関わる支援や特別な支援を必要とする子どもの支援、環境整備など学校園の様々な分野の活動で活躍している。            しかし、ボランティア登録者数と実際の活動者数を比べると差があるため、実際の活動者数の増加を図る必要がある。</p>				
<b>今年度の重点</b>	<p>家庭や地域と連携した学校支援ボランティア活動を推進し、子どもたちが地域の人々に支えられ学ぶことにより、学びへの向上心を育成する。そのため、今後もボランティア登録者や学校園・家庭・地域に積極的な啓発を行い、ボランティア登録者数と実際の活動している人数の増加を図る。</p>				

## 政策2

## 人や自然、文化との関わりを通じた豊かな心の育成

### ■ 施策2-1 思いやりの心や規範意識、向上心の育成

#### 施策の方向性

- 自然や文化芸術に触れる機会により、豊かな感性を育むとともに、道徳科の授業等を通して、思いやりの心や規範意識、向上心を育成します。
- 職業観を醸成し、社会人として必要なマナー等を身に付けるため、発達段階に応じたキャリア教育を推進するとともに、自分らしい生き方を実現するための資質・能力を育成します。

#### ◆ 学校園における道徳教育の充実

事業名	心豊かな子どもの育成事業	担当課	指導課	予算額 (千円)	1,310
事業の概要	・ 授業公開を伴う「岡山市道徳教育研究協議会」の実施 ・ 子どもが自らの生き方を見つめ直す機会を提供する「あの人の生き方に学ぶ講演会」の実施 ・ 優れた演劇を鑑賞する機会を提供する「こころの劇場」の実施				継続
現状と課題	豊かな心を育むために、優れた芸術に触れる体験活動や、子どもが考えたり議論したりする道徳科の授業の充実を図ってきた結果、「人が困っているときに進んで助けている」と答えた子どもの割合が8割を超えて推移しており、思いやりの心や規範意識、向上心をもった子どもの育成につながったと考えている。 一方で、上記の質問に対する否定的な回答も一定数あり、道徳教育等の充実を図ることで、豊かな感性や思いやりの心、規範意識、向上心を育成していく必要がある。				
今年度の重点	道徳科の授業を要とする道徳教育の充実や芸術体験活動の充実により、子どもの思いやりや規範意識、向上心等を育成できるようにする。				

#### ◆ 豊かな心を育むための文化体験の充実

事業名	オリエント美術館体験講座	担当課	オリエント美術館	予算額 (千円)	20
事業の概要	夏休み期間の休館日1日を利用し美術家等講師を招いて行う「ジュニアオリエント教室」、館蔵品展とリンクした、子どもたちが楽しめる定期的ワークショップ「オリエン太のアトリエ」など様々な講座・ワークショップを開催する。				継続
現状と課題	令和3年度は改修工事で休館していたため「ジュニアオリエント教室」、「オリエン太のアトリエ」は行うことができなかったが、各所の公民館などで出張講座・ワークショップを実施し、小中学生のみならず高齢者や親子など幅広く学びの場を提供することができている。				
今年度の重点	令和4年度は再開館に伴い館内での講座・ワークショップを再開していくとともに、出張での活動も状況に応じて継続して行う。異文化やその歴史を体験し、それを基にした物をつくることで、考え方や技術の活用力、思い描いたとおりに形にする表現力を育成する。複数人で共同の作業する際には協調性やリーダーシップにもつながり、豊かな感性を育むことができる。				



事業名	岡山市ジュニアオーケストラ運営事業	担当課	地域子育て支援課	予算額 (千円)	29,641
<b>事業の概要</b>	昭和40年1月、音楽を通じた情操豊かな青少年の育成、市民文化の向上を目的とし、全国初の公立ジュニアオーケストラとして設立。団員は原則として小学校3年生から高校3年生。平成28年度からはジュニア合唱教室も加わり、裾野を広げている。年2回の演奏会に加え、地域への依頼演奏やミニコンサートなどを通じて、より市民に身近なオーケストラを目指している。				継続
<b>現状と課題</b>	各家庭が単独で行うことが難しい専門的な音楽指導やオーケストラ体験を通じて、文化への幅広い理解を育む体験となっている。コロナ禍であり、感染拡大防止の観点から少人数で行うことができるパート練習が中心になっており、全体での合奏練習が少なくなっている。他パートの団員との関係が希薄になりつつあり、社会性を養うことが課題である。				
<b>今年度の重点</b>	専門的な指導員からの指導やオーケストラ活動を通じて、豊かな感性や表現力を育む。また、小学校3年生から高校3年生の異年齢集団で活動することにより、相手を思いやる心や社会性を育成する。				

### ◆ 豊かな心を育むための自然体験の充実

事業名	犬島自然の家における体験プログラムの充実	担当課	生涯学習課	予算額 (千円)	—
<b>事業の概要</b>	海に囲まれた豊かな自然環境の犬島自然の家において、個人及び団体向けの体験プログラムを充実させることで、市民の心身の健全な育成に寄与する。				継続
<b>現状と課題</b>	従来から犬島自然の家では実施事業として宿泊、天体観測、シーカヤック体験を行ってきたが、犬島の自然環境を体験したい市民のニーズに十分こたえきれていないと思われる。そのため、利用者の要望にきめ細やかに応じたプログラムや新たな種類の体験活動を加えるなどして、新規の利用者を呼び込んでいく必要がある。				
<b>今年度の重点</b>	自然に触れ合うことで社会性を育成するため、学校での利用や不登校などの様々な事情を抱えた個人に対応した体験プログラムを新たに作成する。				

事業名	めだかの学校における体験展示の充実	担当課	生涯学習課	予算額 (千円)	612
<b>事業の概要</b>	施設展示や主催事業、学校園との交流等を通して体験型の環境学習の場を提供し、環境保全の重要性について伝えていく。				継続
<b>現状と課題</b>	施設内で展示している淡水魚のホームページへの掲載、施設掲示物の更新など、昨年度から情報発信や展示方法を工夫し、環境学習に関心をもってもらえるよう取り組んでいる。また、学校園からの依頼を受け、館内外で講座を実施しており、幼い頃から環境問題を身近に感じてもらえるよう活動している。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、入館者数や学校園での利用は減少しており、入館者・利用者を増やすための取組が必要である。				
<b>今年度の重点</b>	自然に触れ合うことによって社会性を育成するため、体験展示を設置し、環境学習へ関心を引き付ける動機付けとする。また、ホームページにおいて展示内容の紹介を充実させるなど、広報を積極的に行う。				

事業名	わくわく探険隊	担当課	地域子育て支援課	予算額 (千円)	520
<b>事業の概要</b>	<p>平成14年度から、自然の中で異年齢の仲間と協力し、自分たちで生活をつくり上げるキャンプを岡山市子ども会育成連絡協議会や社会教育施設、地元町内会等との協働によって実施している。</p> <p>2泊3日のキャンプでの生活を基本とし、自然や人のかかわりに重点を置き、子どもたちの豊かな体験活動の場として提供している。</p>				継続
<b>現状と課題</b>	<p>令和元年度の2泊3日のキャンプを最後に、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、宿泊での実施ができていない。(令和2年度は中止、令和3年度は日程を延期し、日帰り実施。)日帰り実施においても参加希望者は多く、募集定員を大幅に上回っている。コロナ禍による体験活動の減少等が影響している可能性もあるが、事業に対する子どもたちの期待は大きい。課題としては、コロナ対策の他、事業協力者との連携や実施場所・方法の模索等が挙げられる。</p>				
<b>今年度の重点</b>	<p>岡山市内全域から異年齢の集団が集まる事業のため、初めて出会う友達と構成されるグループの中で、自分自身の表現力を磨き、社会性を育むことに注力して実施する。</p>				

### ◆ 自ら学び、自ら考える人間を育てる子ども読書活動の推進

事業名	子ども読書活動の推進	担当課	中央図書館	予算額 (千円)	—
<b>事業の概要</b>	<p>市内学校園や公民館との連携事業を引き続き行う。図書館の児童書をさらに充実し、資料を貸し出すことにより学校の調べ学習などを支援していく。また、子どもの興味や関心を引き付け、読書のきっかけとなるようなテーマ展示や行事を開催する。</p>				継続
<b>現状と課題</b>	<p>令和3年度も、新型コロナウイルス感染症での緊急事態宣言等により、講演会の実施を見送った。子ども向けの行事も、安全のため人数等の制限を行っているが、一定程度の開催はできた。貸出冊数の減少は全国的なものではあるが、今後も魅力的な児童書を収集し、子どもたちに興味をもってもらえるような図書館内のレイアウト変更、テーマ展示の作成により、児童書の貸出冊数の増加を目指す。</p> <p>また、新しい生活様式に沿い、図書館での読書活動だけでなく、公民館図書コーナーの図書充実により公民館での図書との出会いも広げられるようにしている。貸出冊数をコロナ前の水準に戻していくこと、行事の工夫により、参加や満足度を高める工夫を行っていききたい。</p>				
<b>今年度の重点</b>	<p>読書体験は、岡山市が目指す子どもの姿を達成するための「活用力」「表現力」「向上心」「社会性」「人権尊重の精神」を培う上で、大切なことであるとする。</p> <p>子どもたちが様々な場で本と出会うことができるよう、保護者に対して子どもたちの身近な読書環境についてPRするとともに、各図書館、移動図書館での個人・団体への貸出や読書相談、及び図書館以外の公民館やふれあいセンターを通しての貸出を進めていく。また、市立図書館と関わりが少なかった施設・団体にも連携を広げるよう努める。</p> <p>学校図書館、放課後児童クラブ、子ども文庫、読み聞かせ団体等に団体貸出を行い、子どもたちの身近な場所に本のある環境を整えていく。</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止に努めつつ、本への興味・関心を喚起し、読書へといざなうため、絵本の読み聞かせや紙芝居、ストーリーテリングなどの行事の開催も継続して行う。</p> <p>また子どもたちに興味をもってもらえるよう、図書館内に様々なテーマ展示を設置するとともにSNSの活用で、より広くその情報を提供しながら広報し、読書への関心を高めていく工夫を行う。</p>				
<b>他局との連携</b>	<p>保健福祉局健康づくり課と岡山っ子育成局地域子育て支援課と連携し、愛育委員への情報提供や絵本の選定などを行う。</p>				

◆ 自らの将来を切り拓く力を育むキャリア教育の推進

事業名	岡山キャリアスタートウィーク事業	担当課	指導課	予算額 (千円)	2,313
<b>事業の概要</b>	<p>全ての中学校で地域の事業者との協働による職場体験活動やキャリア教育を実施する際の生徒の傷害保険・賠償責任保険の保険料を負担する。 本事業を実施する中学校の「地域職場体験活動推進会議」へ補助金を交付する。</p>				継続
<b>現状と課題</b>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響で、市内の多くの学校が職場体験活動を中止としたが、講演会や職場訪問など職場体験活動の代わりにするキャリア教育を行った。 キャリアパスポート等を活用することにより、小学校から高等学校を通じて、子どもが学習状況やキャリア形成を見通したり、振り返ったりして、自己評価を行うとともに、主体的に学びに向かう力を育んでいく必要がある。</p>				
<b>今年度の重点</b>	<p>職場体験活動を中心としたキャリア教育を通して、情報を収集して活用する力や他者と協力して課題を解決しようとする態度を育む。 人権尊重の精神に根差した思いやりの心や規範意識、向上心を養うために、豊かで多様な体験活動の充実を図る。</p>				

## ■ 施策2-2 岡山を愛する心と国際感覚の育成

### 施策の方向性

- 豊かな自然環境や文化芸術に触れる機会などの多様な体験活動を、地域の魅力や課題などに気付く活動に結び付けることで、地域の一員としての意識を育みます。
- 地域の自然や歴史への興味・関心を高めるための、文化財や美術館の活用、保存・整備を進めます。

### ◆ 親しみがもてるような文化財の保存整備・活用の推進

事業名	文化財及び埋蔵文化財の発掘調査成果の活用	担当課	文化財課	予算額 (千円)	153
<b>事業の概要</b>	発掘調査を行った際には、現地説明会を開催し調査現場を一般に公開している。埋蔵文化財センターでは、出土遺物を活用して、平成19年度から定期講座を、平成22年度から企画展を開催し、平成27・28年度にはシティミュージアムで特別展を開催した。旧旭東幼稚園園舎では就学前児を対象にしたイベントを開催している。				継続
<b>現状と課題</b>	豊かな自然環境や歴史文化遺産を有することが岡山市の特徴であり、それらを活用して郷土の文化財への関心を高めていく。				
<b>今年度の重点</b>	教育大綱の社会性等の向上に資すること、その実現のために、発掘調査成果を活用して講座や企画展を開催する。				

事業名	史跡公有化の推進	担当課	文化財課	予算額 (千円)	96,071
<b>事業の概要</b>	将来の保存整備のためにH18年度から史跡大廻小廻山城跡、H29年度から史跡造山古墳、H30年度から史跡万富東大寺瓦窯跡の公有化を行っている。				継続
<b>現状と課題</b>	豊かな自然環境や歴史文化遺産を有することが岡山市の特徴であり、それらを恒久的に保護・保存し、生かしていくためにも史跡の公有化は必要な事業である。				
<b>今年度の重点</b>	教育大綱の社会性の向上に資すること、その実現のために、史跡大廻小廻山城跡、史跡造山古墳の公有化を行っていく				

事業名	史跡保存整備事業	担当課	文化財課	予算額 (千円)	102,449
<b>事業の概要</b>	平成14～19年度に史跡岡山城跡本丸中の段整備事業を行った。平成23年度から史跡岡山城跡本丸下の段整備事業を開始した。平成16～21年度に史跡賞田廃寺跡整備事業を行った。平成27年度から千足古墳の整備事業を開始した。平成26年度から金蔵山古墳、平成28年度から造山古墳の範囲確認のための発掘調査を開始した。				継続
<b>現状と課題</b>	豊かな自然環境や歴史文化遺産を有することが岡山市の特徴であり、それらを恒久的に保護・保存し、生かしていくためにも史跡の整備は必要な事業である。				
<b>今年度の重点</b>	教育大綱の社会性の向上に資すること、その実現のために、史跡岡山城跡、史跡造山古墳群の整備を行っていく。				



## ◆ 美術館の活用による文化力の発信

事業名	オリент美術館特別展等の開催	担当課	オリент美術館	予算額 (千円)	10,000
事業の概要	オリентに関連した特別展、企画展等を開催する。また、岡山市芸術交流の時期においては館蔵品展と共に交流美術家の作品による現代アート展示を行う。				継続
現状と課題	例年特別展を年に1回から2回行っている。しかし、令和2年10月からの改修工事のため令和2年度は館蔵品展と小企画展のみ、3年度は展示を行っていない。 展示を行っていなかった分、改修にあたって整備された環境を活かして、子どもたちにも親しみやすいより良い展示を行う必要がある。				
今年度の重点	令和4年度は特別展「ヒンドゥーの神々の物語」、小企画展「イエスの物語」、「オリент美術館のニュー・スター誕生？」等5本を開催。異文化が生み出した美術工芸資料の鑑賞を通じて、自分たちとは違うものの考え方やそれに基づく技術が存在するという発想力の向上を図る。これにより物事を一つの視点からだけでなく違う視点からも見て考えるという活用力や社会性を育成し、あらためて自分たちの文化や歴史について見つめ直すきっかけづくりにもなる。				

事業名	オリент美術館と県立美術館等との共同事業	担当課	オリент美術館	予算額 (千円)	0
事業の概要	隣接する県立美術館と学芸員の交流や教育普及活動をとおして一層連携を強化し、県立美術館等との共同による情報発信、特別展の企画や学習プログラムの開発等を行う。 岡山カルチャーゾーンとの連携を図る。				継続
現状と課題	平成27年度から、岡山県立美術館との連携事業「おとなり美術館」を展開し、チケット提示による入館料割引をはじめ、美術品の相互利用、逸品のサテライト展示、ボランティアの交流や開催中の展覧会の相互PRを行っている。令和2年10月から3年度の間は改修工事のため当館所蔵品の県立美術館でのサテライト展示、ボランティアの交流のみを行っている。 岡山カルチャーゾーンという周辺施設それぞれと相互に連携のしやすい環境も整っており、その一員としても岡山市の歴史や文化に興味関心をもってもらえるよう共同事業を進めていく必要がある。				
今年度の重点	令和4年度は再開館に伴い「おとなり美術館」が全面的に再開する。また、岡山カルチャーゾーンで行う予定のスタンプラリーをはじめとした連携事業にも積極的に参加していく。これらはオリエントの文化、歴史について知りたい、展覧会を見たいという目的で訪れた人々が岡山の魅力に気付くきっかけとなり、逆に岡山の文化や芸術を目的に訪れる人々にオリент美術への興味をもってもらうきっかけともなる。子どもたちにとっては、多彩な芸術に触れることで個々の表現力の向上に、多彩な歴史・文化を知ることは社会性の育成につながる。				

## ◆ 持続可能な社会づくりに向けたESDの推進

事業名	ESDに係る地域と連携した取組の推進	担当課	指導課	予算額 (千円)	1,334
事業の概要	学校と事業所等が連携・協働して取り組めるよう、地域と連携したESDに係る学校の取組を支援する。				継続
現状と課題	「岡山市教育に関する総合調査」では、自分たちが住んでいる地域に関心がある子どもの割合は増加傾向にあるが、約4割の子どもは自分たちの住んでいる地域にあまり関心を示していない。本事業は、今まで、地域と連携したESDに係る学校の取組を支援してきたが、そのことを踏まえ、地域の環境や地域に暮らす人、歴史的な学習資源などとの関わりを積み重ねる取組を推進していく必要がある。				
今年度の重点	各校は学区ごとの環境を生かして、地域がも強さを再確認し、地域が抱える課題に対して探究的な学習活動を充実させ、自分の地域から世界へ視野を広げられる子どもの育成を目指す。				
他局との連携	市民協働局ESD推進課と連携し、各学校の取組の支援や広報活動を行っている。				

## 政策3

## 健康教育の充実による健やかな体の育成

### ■ 施策3-1 体力づくりの充実と安全教育の推進

#### 施策の方向性

- 家庭との連携を一層重視した取組を進めることで、日常的で自発的な子どもの運動習慣の定着を図ります。
- 関係機関との連携により、主体的な運動習慣の定着に向けた取組の推進を図ります。

#### ◆ 体力・運動能力の向上を目指した運動習慣の確立と健康の保持増進

事業名	運動習慣定着化事業	担当課	保健体育課	予算額 (千円)	250
事業の概要	1週間の総運動時間が60分未満の子どもの割合を減らしていく試みとして、平成27年度に岡山市子どもの運動習慣定着化協力者会議を開催し、「体育の自主学習」を含めた運動をするきっかけづくりとなる取組に関する資料作成を行った。また、平成30年度から市内各学校に運動の習慣化を普及するため、小学校4校の研究推進モデル校による実践と、令和2年度から中学校1校の実践を加えてその成果を広めている。				継続
現状と課題	スポーツ庁の「令和3年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」によると、岡山市における1週間の総運動時間が60分未満の中学2年生の生徒の割合は、男子8.5%、女子19.7%であった。女子は改善傾向にあるが、男子については、令和元年度と同じ数値である。また、年度当初の体育担当者研修講座も中止となったため、実践モデル校以外の学校への事業説明も十分にできていない。今後、各校が運動習慣定着化に向けてより主体的に取り組むことができるようにするために、従来の研修会等に加え、新たな普及方法も検討課題である。				
今年度の重点	家庭との連携を意識したモデル校の実践を普及し、各校が主体的に運動習慣定着に向けて取り組めるようにすることで、子どもが体力について興味をもち、自分の課題に応じた運動を行ったり(活用力)、継続して粘り強く取り組んだりする(向上心)力を養うことができるようにする。				
他局との連携	市民生活局スポーツ振興課、岡山市小学校体育連盟と連携し子どもが家庭でも運動に取り組むことができるよう、岡山トップチーム(ファジアーノ岡山、岡山シーガルズ、リベッツ岡山、トライフープ岡山)運動取組カードを作成し、各校へ周知を図る。				

事業名	学校保健事業	担当課	保健体育課	予算額 (千円)	—
事業の概要	子どもたちの健康な心と体を育成するため、家庭・地域・専門家等との連携した保健管理・保健教育の充実を図っている。				継続
現状と課題	近年の青少年の薬物乱用の実態など子どもたちを取り巻く社会情勢から、学校薬剤師や警察職員等の専門家と連携して行う薬物乱用防止教室等の開催を支援する。				
今年度の重点	家庭・地域・専門家等との連携した保健管理・保健教育の充実を図ることで、子どもが自らの健康について正しい知識を学び、生活に生かすことのできる活用力を身に付ける。				

◆ 健やかな成長を促すための安全教育の充実

事業名	実践的安全教育総合支援事業	担当課	指導課	予算額 (千円)	615
<b>事業の概要</b>	<p>学校安全アドバイザーを学校に派遣し、子ども及び保護者、教職員等の危機管理意識の向上を図る。 6年サイクルの1年目で、6中学校区22校が対象となる。 内容(災害安全、生活安全、交通安全)や形式(職員研修、子どもや保護者向けの講義、避難訓練に対する指導助言、危機管理マニュアルに対する指導助言等)は学校の実情に合わせて実施する。</p>				継続
<b>現状と課題</b>	<p>西日本豪雨の影響からか、令和3年度に実施した学校は、学校安全の三領域「災害安全(防災)」「交通安全」「生活安全」の中から、全て「災害安全(防災)」を中学校区のテーマとして選択している。アドバイザーと担当者が事前に連絡を取り合い、学校の立地に対しての避難の仕方などを共通理解している。課題として、コロナウイルス感染拡大防止を視野に入れた避難の仕方などが考えられる。</p>				
<b>今年度の重点</b>	<p>岡山市の学校における危機管理についての状況把握に努め、情報を分析し効果的な支援について検討する。防災に関するだけでなく、交通安全・防犯の専門家を学校に派遣することにより、防災や交通安全、防犯に関する意識・能力を高めることに努める。</p>				

事業名	子どもの命を守る取組の推進	担当課	保健体育課	予算額 (千円)	2,850
<b>事業の概要</b>	<p>緊急時の対応に備えるため、市立学校にAEDを設置するとともに、AEDトレーナー・ダミー人形を増設し、市内学校に貸し出すことで、校内での実践的な研修に結び付ける。 市立学校の管理職を対象に応急手当普及員研修会を実施し、全ての市立学校に応急手当普及員の資格を持った教職員を在籍させる。</p>				継続
<b>現状と課題</b>	<p>子どものさらなる安全確保に期するため、貸出用AEDトレーナー等を増設するとともに、従来実施していた一次救命処置研修会に加え、消防局救命課と連携し、管理職を対象に応急手当普及員研修会を開催している。令和3年度は新たに25人が応急手当普及員の資格を取得した。 応急手当普及員資格は3年間有効であり、資格継続のための再講習を受講する必要があるため、対象者には必ず通知をしなければならない。</p>				
<b>今年度の重点</b>	<p>有資格者の管理職が、校内研修などで積極的に伝達し、校内の危機管理体制の充実を図る。</p>				
<b>他局との連携</b>	<p>教育委員会が研修会の企画立案を行い、消防局救命課が実習を担当している。</p>				

事業名	防災キャンプ推進事業	担当課	地域子育て支援課	予算額 (千円)	2,006
<b>事業の概要</b>	<p>公民館を中心に実行委員会を組織し運営している。災害発生時に想定される状況を疑似体験できる学習機会を提供し、「地域住民間の絆づくり」、子どもが学校外で被災した場合、自らの生命を守ることができる防災技術や知識を学ぶ機会を設ける。また、防災教育の内容と成果の周知のため事例報告展を開催する。</p>				継続
<b>現状と課題</b>	<p>学区内全ての小学校で実施した中学校区があったり、子どもの参加が増加した中学校区があったりするなど、事業は浸透してきていたものの、コロナ禍により活動内容に制限があり参加者数が大幅に減少している。コロナ禍において参加者が安全に参加できる実施形態の構築が課題である。</p>				
<b>今年度の重点</b>	<p>訓練を通じて「地域住民間の絆づくり」、技術や知識を実践できる活用力の向上を図る。</p>				

## ■ 施策3-2 食育の推進

### 施策の方向性

- 子ども自身に係る客観的な数値に基づいて食育を推進するなど、家庭、地域社会と連携しながら、より良い食習慣・生活習慣の定着を図ります。

### ◆ 健全な食習慣の形成を目指した学校園における食育の充実

事業名	学校給食における食育の推進	担当課	保健体育課	予算額 (千円)	—
事業の概要	給食の時間、特別活動や関連する各教科等において、校内での共通理解のもとに、食に関する全体計画に基づいて、食育の推進に取り組むことができるよう支援する。				継続
現状と課題	食に関する指導の全体計画に基づいて、中学校区で連携を図り、各学校の実情にあわせて発達段階に応じた食育に取り組んできた。平成27年度には、「岡山市の基本的な食に関する指導のカリキュラム」と指導案を作成し、各学校で実施した指導案や資料等を共有し、学校間格差が少なくなるような取組を進めてきた。そして、平成31年3月に文部科学省より「食に関する指導の手引き」の改訂があり、新たな食に関する指導の全体計画の作成し、食育の推進に努めている。 課題として、学習指導要領や教科書の変更に伴い、地場産物の活用を含め、岡山市のカリキュラムの改訂が必要である。				
今年度の重点	学校給食における食育の推進において、岡山市のカリキュラムを改訂し、各学校の食に関する指導の全体計画に取り入れ、子どもたちが自らの生活を見直すために必要な知識や情報を習得し、より良い食習慣・生活習慣を実践する力(表現力)を育成する。				

事業名	客観的な数値を活用した食育事業	担当課	保健体育課	予算額 (千円)	161
事業の概要	身体測定機器を用いた測定値や実態把握(データ)等の客観的な数値を示すことにより、成長期にある子どもに自らの生活を見直す機会を与え、食への興味関心を喚起し、より良い食生活・生活習慣・健康意識を向上させる。身体測定機器として、ヘモグロビン推定値測定器・体組成計等を各学校に貸し出す。				継続
現状と課題	文部科学省の「平成26年度スーパー食育スクール事業」において「客観的指標を用いた食育による食生活の改善と学力向上につなげる取組」として取り組んだ。客観的なデータを用いた食育の取組の効果が認められたことから、成果の普及を図っている。 課題として、新型コロナウイルス感染症予防対策として、試食会やスクールランチセミナーが中止になり、身体測定機器を使用する機会が減少している。一方、令和3年度全校で実施した食生活日常生活調査の新たな客観的な数値を活用した取組を検討したい。				
今年度の重点	客観的な数値を活用した食育事業の取組を通して、食育の機会を増やし、より良い食習慣・生活習慣の定着を図る。これにより、健やかな体を主体的に育もうとする向上心を育成できるようにする。				



## 政策4

### 一人一人の育ちを支える指導・支援の充実

#### ■ 施策4-1 一人一人を大切にしたい集団づくりの推進

##### 施策の方向性

○ 安心して学び合うことができる集団づくり、学級づくり、仲間づくりを進め、子どもが「学校が楽しい」と思える基盤づくりや、問題行動等の未然防止に取り組むとともに、「早期発見・早期対応」と「継続的な対応」を徹底します。

#### ◆ 一人一人の子どもの個々の状態に合わせた支援による集団づくりの充実

事業名	生徒指導関係事業<総合支援>	担当課	指導課	予算額 (千円)	366
事業の概要	<p>子どもの学校適応感を把握する質問紙調査をいじめの積極的な認知に活用する等、学級集団づくりを中心に据えながら、全ての子どもが健全に成長でき、現在及び将来における自己実現を目指すことができるよう、自己指導能力の育成に向けた施策を計画・実施する。</p> <p>学校と関係機関が連携して、子どもへの支援を行う体制づくりの推進に向け、生徒指導担当者等を対象とした連絡協議会を開催する。</p> <p>「しゃべりんぴっく」を通して、各中学校での生徒会活動の活性化を図る。</p>				継続
現状と課題	<p>昨年度は、「しゃべりんぴっく」を2年ぶりにオンラインで実施することができ、各学校の生徒会活動について情報交換ができた。</p> <p>質問紙調査ASSESSの活用方法の一つとして、いじめの積極的な認知の方法としての活用について、学校へ周知を図り共通理解することができた。しかし、学級集団づくりにつながるASSESSの活用方法については十分な理解が進んでおらず、今後、どのように啓発していくかが課題である。</p>				
今年度の重点	<p>子ども理解に基づいた自主性の伸長を目指し、一人一人を大切にしたい学級集団づくりの実現に向けて取り組むとともに、関係機関等と連携した生徒指導体制づくりを推進する。</p>				
他局との連携	<p>ヤングケアラーや児童虐待、また貧困等により困難を抱えている子どもに対する支援体制の充実に向けて、岡山っ子育成局、保健福祉局等と連携している。</p>				

#### ◆ 落ち着いた教育環境をつくるための学校園の体制の充実

事業名	スクールカウンセラー配置事業	担当課	指導課	予算額 (千円)	56,000
事業の概要	<p>スクールカウンセラーを小学校35校、中学校36校、義務教育学校1校、高等学校1校に配置し、暴力行為やいじめ、不登校、また新型コロナウイルス感染症による登校への不安を感じている子ども及びその保護者のカウンセリングや、教職員への助言及び教育相談の技法の研修等を実施する。</p> <p>スクールカウンセラーの資質向上のために、スーパーバイザーを7人配置し、経験の浅いスクールカウンセラーへの助言や外部講師を招いた研修を実施する。</p>				継続
現状と課題	<p>不登校やいじめ、新型コロナウイルス感染症など、様々な相談がスクールカウンセラーに寄せられており、学校内での需要の高まりがみられる。今後も、不安を抱えている子どもや保護者の心のケアを行うため、学校や学区の状況に合わせた配置校の検討が必要である。</p>				
今年度の重点	<p>スクールカウンセラーが教職員や子どもに向けた心理教育やコンサルテーションを積極的に行うことで、教育相談体制の充実を図る。また、教職員と連携した不登校対策をさらに推し進める。</p>				



事業名	不登校児童生徒支援員配置事業<総合支援>	担当課	指導課	予算額 (千円)	50,500
事業の概要	不登校及び、その傾向のある子どもやその保護者に対して必要な援助を行うことにより、不登校の未然防止や解決に資するため、不登校児童生徒支援員を配置する。				継続
現状と課題	依然として高い本市の不登校出現率を抑制するため、子どもたちに積極的にかかわる意欲のある人材を学校に配置し、支援を行ってきた。 不登校児童生徒支援員による登校サポートや、別室での支援、保護者との連携により、子どもが登校しやすい環境を整えることに努めているが、不登校児童生徒の新規数は小学校・中学校ともに増加傾向にあり、不登校の未然防止に向けた支援の充実が必要である。				
今年度の重点	新規不登校児童生徒数の減少に向けて、長期欠席の兆候が見られる子どもに対して、早期に組織的な支援を行うために校内の支援体制の充実を図り、不登校児童生徒支援員が他の教職員と連携して、より効果的な支援を行えるようにする。				

事業名	教育支援アドバイザー配置事業	担当課	指導課	予算額 (千円)	3,300
事業の概要	学校教育または、青少年健全育成の経験を有する教育支援アドバイザーを小学校へ配置する。 暴力行為やいじめ等の問題行動の未然防止に参画し、組織的な対応力の向上支援を行う。 教職員と連携して生徒指導及び特別支援教育等の校内体制づくりを支援する。				継続
現状と課題	問題を抱えている学校は多いと考えられるが、教育支援アドバイザー配置の要望が少ない。配置された学校においては、確実に、教職員の対応力や体制強化につながったり、個に応じた対応や指導法の見直しにもつながったりしている。課題としては、上記の取組について、全ての学校でどのように共有していくかが挙げられる。				
今年度の重点	様々な問題における初期対応について、教職員間で共有するとともに、担当のクラスだけでなく、学年全体、全校に目を向け、「チーム学校園」として対応する力の向上を目指し、安心安全で居心地の良い学校づくりを支援する。さらに、関係機関に関する知識や支援の求め方を助言しながら、困難を抱えた子どもに対して、学校だけで問題を抱えず関係機関と連携を図れるように支援する。				

事業名	就学援助事業	担当課	就学課	予算額 (千円)	812,279
事業の概要	学校教育法第19条の規定に基づき、経済的な理由で就学困難な子どもの保護者に対して、学用品費、学校給食費、修学旅行費等の就学援助費を支給する。				継続
現状と課題	令和2年度から 学校給食費を全額(実費)支給に増額したが、修学旅行費等、それ以外の費目についての増額や支給費目の拡大を求める声が、各方面から寄せられている。				
今年度の重点	新型コロナウイルスの影響の収束時期が見通せない中、雇用環境等の急激な変化による生活困窮世帯は増加傾向にある。 郵送への切替により、申請時の負担を減らすなどの工夫をしながら、支援が必要な世帯に対して、引き続き就学援助費を支給する。				

◆ 問題行動等の未然防止及び早期解決のための取組の充実

事業名	いじめ専門相談員派遣事業	担当課	指導課	予算額 (千円)	6,147
<b>事業の概要</b>	<p>公認心理師・臨床心理士の資格をもついじめ専門相談員を2人配置し、学校からの要請を受けていじめ防止対策会議やケース会に出席したり、子どもや保護者との相談を行ったりする。 「いじめ相談専用ダイヤル」に寄せられる電話相談や、面接相談への対応を行う。</p>				継続
<b>現状と課題</b>	<p>「令和2年度児童生徒の問題行動・不登校等児童生徒指導上の諸課題に関する調査」で、他の自治体との比較において、いじめの認知件数が少ないという結果であったことを受け、いじめの定義について再度確認することで、いじめの積極的認知を進める必要がある。 さらに、いじめ専門相談員がいじめ防止対策会議やケース会に出席し、いじめの未然防止や解決に向けた助言を行う回数を更に増やすため、本事業の取組を各学校に周知する方法を検討する必要がある。</p>				
<b>今年度の重点</b>	<p>いじめの積極的な認知に関して、いじめ専門相談員を通じて、周知徹底を図っていくとともに、認知したいじめについて、学校との継続的した連携、対応後の情報収集、事例検討を行う。</p>				

事業名	問題行動等対策事業<総合支援>	担当課	指導課	予算額 (千円)	750
<b>事業の概要</b>	<p>「いじめ防止対策推進法」の施行を受けて、教育委員会の附属機関として設置した「岡山市問題行動等対策委員会」において、いじめ等の問題行動の防止を実効的に行うための対策について年間3回の定例会で審議する。 いじめの重大事態発生時には、事実関係を明確にするための調査を実施する。</p>				継続
<b>現状と課題</b>	<p>「いじめ防止対策推進法」の施行を受けて、教育委員会の附属機関として設置した「岡山市問題行動等対策委員会」において、いじめ等の問題行動の防止を実効的に行うための対策について審議した。また、昨年度は、部会を開催し、問題行動及び不登校の防止に向けた啓発資料についても審議した。今後も、客観的で多角的な専門家の意見を聴取する会の運営が必要である。</p>				
<b>今年度の重点</b>	<p>問題行動やいじめ、不登校の課題の分析と、防止等のための効果的な施策等について、専門的な見地から審議する。</p>				

## ■ 施策4-2 一人一人の課題に応じたきめ細かな支援

### 施策の方向性

○ 多様な背景をもつなど、支援や配慮を必要とする子どもが安心して学校生活を送ることができるよう、関係部局や医療・福祉等の関係機関と連携し、専門的な相談ができる体制づくりや校内の支援体制の充実を進めます。

#### ◆ 支援や配慮を必要とする子どもが安心して学校生活を送るための支援体制の充実

事業名	共に生きる子どもを育てる障害児支援事業	担当課	指導課	予算額 (千円)	392,231
<b>事業の概要</b>	<p>共生社会の実現に向け、障害のある子どもと障害のない子どもが、できる限り同じ場で共に学ぶことを目指し、特別支援教育を推進する。</p> <p>就学相談員を小学校へ派遣し、就学相談や園への訪問を通じた適切な就学支援を進める。</p> <p>学校長や特別支援教育コーディネーター等を中心とした校内支援体制を整備するとともに、個別の指導計画、個別の教育支援計画の活用を進める。</p> <p>「特別支援教育支援員」及び「看護支援員」を学校に配置し、学校生活や学校行事における支援や介助、周囲の子どもの障害に対する理解等の業務を行う。</p> <p>医療的ケア相談員を配置し、安全に医療的ケアが実施できる体制づくりを進める。</p> <p>特別支援教育の視点を生かした授業づくりを推進するため、実践研究校を指定して、効果的な指導方法や指導内容を研究し、市内の学校に広める。</p> <p>一人一人の特性に応じた指導・支援の在り方や教育課程の編成について研修等を行い、担当教職員のスキルアップを図る。</p> <p>学校から特別支援教育に関する相談を受け、専門家から助言を行う。</p> <p>医師、大学教員等を委員とした「特別支援連携協議会」を開催し、岡山市の特別支援教育の方向性について協議する。</p> <p>学校から合理的配慮に関する相談を受け、合理的配慮の提供が適切に行われるよう、必要に応じて対応する。</p>				継続
<b>現状と課題</b>	<p>障害による支援や配慮を必要とする子どもたちが適切な学びの場で教育を受けられるように、通常の学級及び特別支援学級の学級経営や授業づくりを充実させ、実態に応じた支援を行い、学級への所属感を高める取組を充実させることが必要である。</p>				
<b>今年度の重点</b>	<p>特別支援連携協議会を開催し、様々な方面の専門家から意見を聴取し、協議することで、岡山市の目指すべき特別支援教育の方向性について検討を進めていく。</p>				
<b>他局との連携</b>	<p>「特別支援連携協議会」の委員として、岡山っ子育成局、保健福祉局の関係各課長を委嘱し、より良い特別支援教育について協議している。</p> <p>医療的ケア実施体制の充実に向けて、岡山っ子育成局、保健福祉局等と連携している。</p>				

事業名	日本語指導支援員派遣事業	担当課	指導課	予算額 (千円)	2,700
<b>事業の概要</b>	<p>帰国・外国人児童生徒在籍校への日本語指導支援員の派遣を行う。</p> <p>日本語指導が必要な帰国・外国人児童生徒が在籍する学校へ日本語指導支援員を派遣し、日本語の習得及び学校生活への円滑な適応支援を実施する。</p>				継続
<b>現状と課題</b>	<p>日本語指導が必要な子どもに対して日本語指導支援員を派遣し、特別の教育課程を編成して個別指導を行うことで日常生活に必要な日本語の習得及び学校生活への適応に対する支援を実施している。令和元年に「日本語教育の推進に関する法律」が施行され、日本語指導等の充実が求められている。今後は母語の多様化への対応や、より子どもの実態に適した指導を行うなど支援体制を充実させていく必要がある。</p>				
<b>今年度の重点</b>	<p>支援や配慮を必要とする子どもが安心して学校生活を送り、主体的に学び続けることができるように、支援体制づくりや翻訳機の活用など、子どもの実態に応じた指導の工夫や支援を行う。</p>				

## 政策5

## 学校園の教育環境の充実

### ■ 施策5-1 教職員の資質・能力の向上と支援体制の充実

#### 施策の方向性

- 教職員の人権感覚を含む資質・能力向上に資するため、子どもたちの情報活用能力(情報モラルを含む)の育成など、喫緊の課題に対応しながら教職員研修の充実を図るとともに、若手教職員の授業力等の向上に係る取組を推進します。
- 教職員が、教材研究などに専念する時間や、子ども一人一人と向き合う時間の確保によって子どもの成長を実感し、やりがいを感じられるよう、教職員への支援体制を充実させます。

#### ◆ 教育力向上のための優秀な人材の確保

事業名	魅力ある教員の確保事業	担当課	教職員課	予算額 (千円)	5,944
事業の概要	岡山市の求める教職員(「自立に向かって成長する子どもの育成」を推進する教員)を確保するための問題作成及び選考を実施する。 岡山市内の教員養成課程を有する大学に対して、周知を図る。 人材育成に向けての方向性を示すとともに、志願者の増加と情熱ある人材確保を図るため、ポスター等の作成や県内外での大学説明会などの広報活動を実施する。				継続
現状と課題	全国的に教員採用試験の出願者数は減少傾向にあり、岡山市も同じ状況にある。本事業では、岡山市が求める人材を今後も引き続き確保していくために、広く県内外に、岡山市の教育や教職の魅力やPRし、出願数を今より増加させていくことが課題であると考えている。併せて、大学生が抱えている教職に対する不安や悩みを解消していく必要もあると考えている。				
今年度の重点	岡山市の魅力や教職の仕事に対する魅力を、志願を考えている者に伝わりやすいかたちで広報活動していく。そのために、ポスターや、パンフレットを作成し、PRしていくとともに、ニーズに応じたPR方法を検討していく。また、出願者増加を目指すため、オンラインも取り入れた県内外の大学生を対象とした説明会を実施し、「自立に向かって成長する子ども」と「自らの個性を磨き、選択と挑戦を繰り返すことのできる子ども」の育成を目指し、岡山市の魅力や教育をPRしていくとともに、教職に対する不安や悩みも解消できるように努める。				

#### ◆ 教職員研修や教育研究の取組を通じた教職員の資質・能力の向上

事業名	学校園における人権教育の充実	担当課	指導課 幼保運営課	予算額 (千円)	1,821
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中学校区及び学校園で行う人権教育研修の開催支援、人権教育に関する資料の作成、配付</li> <li>・ 研究校を指定した人権尊重の理念に基づく教育の在り方についての実践研究の推進</li> </ul>				継続
現状と課題	中学校区における教職員対象の人権教育研修や各学校園が主体となって行う研修に対し、人権教育に関する資料を配付・提供したり、講師謝礼金の補助などの開催支援を行ったりしている。学校園では、多様な背景をもつ子どもたちへの支援が求められており、教職員が人権課題を正しく理解し、人権感覚を高めていくことで一人一人の子どもたちへの適切な指導や支援を実現していくことが必要である。				
今年度の重点	学校園で人権尊重の理念に基づく教育が推進されるよう、人権課題や多様な背景をもつ子どもたちの理解が促進され、人権が尊重される授業づくり、環境づくり、人間関係づくり等が充実するための研修資料や講師に関する情報の提供を行う。また、新型コロナウイルス感染症に係る人権への配慮にも留意して啓発していく。				



事業名	教職員研修事業	担当課	教育研究研修センター 幼保運営課	予算額 (千円)	8,900
<b>事業の概要</b>	岡山市教員等育成指標に示す資質・能力向上を目指し、教職経験年数や担当する職務、岡山市の教育課題等に応じた系統的・効果的な教職員研修を実施する。				継続
<b>現状と課題</b>	<p>「岡山市教員等育成指標」に示す資質・能力向上を目指し、教職経験年数や担当する職務、岡山市の教育課題等に応じた教職員研修を計画的に実施してきた。</p> <p>今後は、教職員が力量を向上させるとともに、喫緊の課題に対応することができるようにするために、教職員研修の充実を図る必要がある。</p>				
<b>今年度の重点</b>	<p>喫緊の課題である子どもの情報活用能力(情報モラルを含む)の育成ができるように、各種研修に位置付ける。</p> <p>また、初任者研修、2年目研修、3年目研修の内容を総合的に見直して実施することで、若手教員が3年間を通して「教職員として必要な基礎・基本を身に付ける」ことができるようにする。</p>				

事業名	OJT若手教員育成支援プロジェクト	担当課	教育研究研修センター	予算額 (千円)	教職員研修費に含まれる。
<b>事業の概要</b>	OJT支援員による若手教職員の授業力等の向上を図るための直接支援及びOJTに関する学校の課題解決のための支援を実施する。 OJT支援に活用できる映像資料等を作成する。				継続
<b>現状と課題</b>	<p>知識と経験の豊富な教職経験を有するOJT支援員(退職教員)が直接学校に出向き、各校が抱える若手教職員の育成に関する課題の解決のための支援を実施してきた。また、OJT支援に活用できる映像資料等を作成してきた。</p> <p>今後は、若手教員の人材育成及びそのための校内の体制づくりを推進する必要がある。</p>				
<b>今年度の重点</b>	<p>子どもの資質・能力を育成するために、学校全体で若手教員の授業力等の向上を図ることができるようになる。</p> <p>そのため、若手教員への直接支援とともに、学校が、若手教員育成支援体制の構築・充実を図ることができるよう、OJT支援員が学校に訪問し若手教員育成支援体制について助言を行う。</p>				

事業名	英語指導力向上のための研修プログラム	担当課	教育研究研修センター	予算額 (千円)	教職員研修費に含まれる。
<b>事業の概要</b>	外国語担当教員の指導力及び英語力の向上を目指し、学習指導要領で求められる資質・能力向上のための効果的な指導方法や授業づくりについて学ぶことができる研修プログラムを実施する。				継続
<b>現状と課題</b>	<p>本事業は、令和2年度から「英語指導力向上研修」として、小・中学校で共通する言語活動についての理解を進めるとともに小中連携を図るため、小・中学校合同で授業実践を取り入れた研修を実施してきた。</p> <p>今後は、小学校と中学校それぞれの評価や具体的な授業の内容を、より専門的に学ぶことができるようにする必要がある。</p>				
<b>今年度の重点</b>	<p>教員の指導力及び英語力の向上を図ることで、英語教育を充実させ、子どもの資質・能力を育成することができるようにする。</p> <p>そのため、教員が授業に言語活動を取り入れる、より具体的な方法を学ぶことができるように、小学校と中学校を分けて研修を実施する。</p>				



事業名	教職員の力量を高める教育研究事業	担当課	教育研究研修センター	予算額(千円)	2,094
<b>事業の概要</b>	・ 校内での研究・研修に役立つ調査研究の実施及び教育情報の提供				継続
<b>現状と課題</b>	<p>教職員の資質・能力の向上に向けて、学校組織の活性化や校内での研究・研修を支援できるよう調査研究及び教育情報を提供してきた。</p> <p>今後は、これまでに作成した成果物のより一層の活用を促進するとともに、教員の資質・能力の向上を図るためにマイ・キャリアノートを有効に活用する必要がある。</p>				
<b>今年度の重点</b>	<p>学習指導要領に示されている子どもの資質・能力を育成するために、教職員一人一人が主体的に自身の力量を向上することができるようにする。</p> <p>そのため、これまでに作成した成果物の活用を促進するため周知方法を工夫する。また、マイ・キャリアノートを経験年数別研修で活用し、教員の資質・能力の向上を図る取組に生かすとともに、校内でマイ・キャリアノートを活用できるように活用方法の周知を図る。</p>				

事業名	ICT活用指導力向上事業	担当課	教育研究研修センター	予算額(千円)	96,050
<b>事業の概要</b>	<p>情報活用能力(情報モラルを含む)の指導に対応するための、教員のICT活用スキルの向上を図る。</p> <p>ICTを効果的に活用した「分かりやすく楽しい」授業づくりができる教員の育成を図る。</p>				継続
<b>現状と課題</b>	<p>これまで、ICTに関する研修の充実やICT支援員の配置などを行ってきたことで、1人1台端末を扱う基礎的な知識やスキルを身に付けた教職員が増えてきている。しかし、授業等において効果的にICTを活用していく教員の指導力については、全体的に不十分であると考え。本事業で、ICTを効果的に活用した授業づくりの支援を継続していく必要がある。</p>				
<b>今年度の重点</b>	<p>経験年数やスキルごとの研修の実施などにより、ICT活用に関する教員の資質・能力の向上を目指す。また、ICT支援員の配置により、ICTを活用した授業づくりをする教員をサポートするとともに、ニーズに合わせた校内研修を実施する。</p>				

#### ◆ 教職員への支援体制の充実

事業名	学校問題解決サポート事業	担当課	指導課	予算額(千円)	10,621
<b>事業の概要</b>	<p>学校だけでは解決困難な事案について、サポートチーム(弁護士、精神科医師等の専門家)による助言・支援を行ったり、重大事案やケース会議等に、弁護士等の専門家を派遣したりする。</p> <p>学校の対応力向上を目的として、弁護士を講師とした教職員研修を実施する。</p>				継続
<b>現状と課題</b>	<p>いじめ等の重大な事案が発生した場合、保護者からの要求において、法的観点にそった対応を必要とするケースが多く見られる。研修会やケース会等で弁護士等の専門家の意見を積極的に聞いたり、協議を交わしたりする機会を増やすことで、解決や改善への対応力が向上するよう、支援を充実していくことが必要と考える。</p>				
<b>今年度の重点</b>	<p>学校における解決困難な事案について、弁護士、医師、臨床心理士等と連携を図りながら、事案の深刻化、長期化を防ぐ。</p>				

事業名	学校業務アシスト事業	担当課	教職員課	予算額 (千円)	83,000
事業の概要	小中学校において、教員の事務処理等の業務軽減と、子どもと向き合う時間の充実を図るため、教員が行っている専門性を必ずしも必要としていない事務処理等の業務の一部を行う。各学校に1週間5～30時間、年間36週教員業務アシスト職員を配置する。				継続
現状と課題	岡山市立全小中学校へ学校業務アシスト職員を配置し、「子どもと向き合う時間の確保につながった」と肯定的な回答をした教員の割合は93.0%と高い割合を維持している。引き続き、安定的な人材確保に努め、各校の有効な活用事例を共有するなどして、学校業務アシスト事業の効果を高めていきたい。				
今年度の重点	安定的な人材確保や各校の有効な活用事例の共有に努め、教職員への支援体制を充実を図る。教材研究等に専念する時間や、子ども一人一人と向き合う時間を確保することで、学力の向上や問題行動等の解決に向けた取組の推進を支える。				

事業名	部活動指導員配置事業	担当課	保健体育課	予算額 (千円)	27,400
事業の概要	中学校、高等学校を対象とし、運動部(吹奏楽部含む)には100人程度、文化部には30人程度の部活動指導員(一般職会計年度任用職員)を配置し、運動部には1か月25時間程度(年間200時間程度)、文化部には1か月6時間程度(年間80時間程度)の部活動指導を行う。				継続
現状と課題	平成27年度から部活動の充実を図るために実施していた外部指導者を派遣する部活動サポート事業を基に制度を見直し、平成30年度から教員の負担軽減と部活動の充実を目的とした部活動指導員配置事業として実施している。 概ね学校の配置希望と指導員のマッチングはできているが、全ての希望に沿うことはできていない。また、指導員の資質向上が課題である。				
今年度の重点	学校と指導員のニーズに合致した配置を進める。 指導員の資質・能力向上のための研修を実施する。 幅広い分野の人材確保の取組を行う。				

事業名	学校給食費の公会計化	担当課	保健体育課	予算額 (千円)	8,300
事業の概要	学校単位で管理している給食会計を公会計化し、教職員が本来の専門性を活かし、子ども一人一人と向き合う時間等を確保する。				継続
現状と課題	教職員が学校給食費の徴収や納付交渉などを行っており、教職員の業務負担となっている。				
今年度の重点	公会計化移行に向けた制度設計を行う。				

## ■ 施策5-2 安全・安心で快適な教育環境の整備

### 施策の方向性

○ 安心して学べる教育環境の充実に向けて、より良い学習環境・学校生活に配慮した施設の整備等を行います。

○ 多様な学びの機会を保障し、質の高い教育を目指すため、ICT環境等の充実に努めます。

### ◆ ICT環境や学校図書館などの充実

事業名	学校図書館の充実	担当課	指導課	予算額 (千円)	70,000
事業の概要	<p>「読書センター」として読書活動を推進し、子どもの豊かな心を育むために、興味関心に合った図書資料を計画的に整備する。</p> <p>「学習センター」として、学校司書と司書教諭、授業者が連携し、授業等で学校図書館が計画的に活用できるように、各学校の整備状況や学校図書館運営計画(経営計画)等を総合的に勘案して、図書資料を計画的に整備する。</p> <p>「情報センター」として、各学校で編制した教育課程で情報活用能力の育成を図るために、図書資料を計画的に整備する。</p> <p>古くて利用価値の低くなった図書資料の更新を進め、内容の充実を図りながら、学校図書館標準を維持する。</p>				継続
現状と課題	<p>学校図書館図書標準未達成を解消するため、学校図書館図書整備10か年計画(平成26～令和5)により整備中である。平成26年度から平成28年度まで重点的な予算措置を行い、平成28年度末にはほぼ解消した。今後は、経年により資料価値の低くなった図書の更新や図書標準の維持が課題である。</p>				
今年度の重点	<p>情報の活用力や、自分の考えを分かりやすく伝えることができる表現力の育成に資することができるよう、学習指導要領で示された学習活動に対応した図書を整備し、全校で学校図書館図書標準を維持しながら、内容が古くなり利用価値が低くなった図書を更新する。</p>				

事業名	ICT環境整備事業	担当課	教育研究研修センター	予算額 (千円)	695,201
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>端末などの機器やネットワーク、校務支援システムなどのICT環境の整備と運用及び更新</li> <li>機器等の障害対応やセキュリティ対策など、安定的な運用に向けた支援</li> </ul>				拡充
現状と課題	<p>国のGIGAスクール構想に伴う1人1台端末や無線LANネットワーク整備により、学校のICT環境が大きく変化した。学校で扱うICT機器の増加により、故障や破損などの障害も増えており、本事業において、授業や校務に支障が出ないようにするために、学校へのサポートをしていく必要がある。</p>				
今年度の重点	<p>学校ICTヘルプデスクによる障害対応や設定等にかかる支援、また、教育委員会による端末の一括管理や「岡山市教育情報セキュリティポリシー」の策定・周知等のセキュリティ対策の徹底を図ることで、ICT機器等が安定的に稼働し、安心で安全なICT活用が、学校で日々展開されるようになる。また、モバイルルータを各校に配備し、Wi-Fi環境が無い場所(体育館や屋外など)での1人1台端末の利用を可能とすることで、さらなるICT活用推進を図る。また、ICT環境の更新・充実に資するため、大型提示装置の配備を順次行っていくことで、映像資料やオンラインを活用した質の高い教育の実現を目指す。</p>				

◆ より良い学習環境・学校生活に配慮した施設の整備による教育環境の充実

事業名	学校施設長寿命化改修事業	担当課	学校施設課	予算額 (千円)	2,914,000
<b>事業の概要</b>	学校施設の老朽化対策や教育環境の質的改善による再生整備と、計画的な予防保全による施設の長寿命化により、中長期的なトータルコストの縮減、財政負担の平準化を図る。				継続
<b>現状と課題</b>	改修費が膨大な額となることから、経費の削減と平準化、財源確保を考慮しなければならないが、全体事業量を縮小することは難しく、改修の規模や手法についてはさらなる検討が必要。また、将来を見据えた改修を行う必要があり、学校の適正規模化や、教室の仕様見直し（ICT等）など整備基準の更新等、関係課との調整が必要である。				
<b>今年度の重点</b>	安心して学べる教育環境の充実に向けて、より良い学習環境・学校生活に配慮した施設の整備等を行う。				

事業名	義務教育学校施設整備事業	担当課	学校施設課	予算額 (千円)	135,796
<b>事業の概要</b>	子どもの減少が進む山南中学校区の4小学校及び1中学校を統合し、県内初となる義務教育学校を設立するため、山南中学校の敷地に校舎を増築及び既存校舎の改修を実施する。（山南学園は令和4年4月開校）				継続
<b>現状と課題</b>	開校後の施設整備を安全に進めていく。				
<b>今年度の重点</b>	安心して学べる教育環境の充実に向けて、より良い学習環境・学校生活に配慮した施設の整備等を行う。旧給食棟の解体と渡り廊下の建築を行う。				

事業名	学校空調設備整備事業	担当課	学校施設課	予算額 (千円)	2,000
<b>事業の概要</b>	小中学校の特別教室等へ空調設備を整備する。				新規
<b>現状と課題</b>	令和2年度の夏から全ての小中学校で空調設備が使用できるよう整備し、学びに集中できる教室環境が整った。特別教室等への空調設備は整備していない。				
<b>今年度の重点</b>	安心して学べる教育環境の充実に向けて、より良い学習環境・学校生活に配慮した施設の整備等を行う。整備の在り方について検討するための基礎調査を行う。				

事業名	学校給食施設整備事業	担当課	保健体育課	予算額 (千円)	157,700
<b>事業の概要</b>	安全でおいしい給食の安定的効率的な提供を図るために、中学校の単独調理場を集約し、新しい学校給食センターを建設する。また、計画的に調理場の予防保全を計り、長寿命化対策を推進する。				新規
<b>現状と課題</b>	現岡山学校給食センターは、昭和46年に建設され、施設の老朽化が著しく進行しており、また耐震基準を満たしていない施設である。また、その他の給食施設についても、築後30年以上経過している施設が大半を占めており、老朽化に伴う修繕や更新等への対策が必要となっている。さらに給食運営を取り巻く環境として、子どもの数の減少に伴い、全体的に給食運営の効率性が悪くなり、一日当たりの給食費の負担が大きくなっている。				
<b>今年度の重点</b>	新岡山学校給食センターの土地造成の実施とPFI事業の公告を行う。 学校教育において給食を含む食育は教育大綱に示されている岡山市が目指す子どもの姿やその姿に必要な5つの力を育むうえで欠かすことのできない重要な要素であり、素地づくりに大きな影響を与えるものと考えられる。				
<b>他局との連携</b>	施工内容や設計内容などの技術支援等で都市整備局公共建築課と連携を行う。				

## 政策6 家庭、地域社会の教育環境の充実

### ■ 施策6-1 家庭の教育力向上への支援

#### 施策の方向性

○ 家庭教育の啓発や家庭教育に関する学習機会の提供、家庭教育支援団体相互のネットワーク強化などを通して、家庭教育を支援し、家庭における人権感覚を含めた教育力の向上を図ります。

#### ◆ 家庭教育や子育て支援の充実

事業名	PTAにおける人権教育の充実	担当課	指導課 幼保運営課	予算額 (千円)	2,966
<b>事業の概要</b>	保護者の人権意識の高揚を図り、家庭教育力を高めるために、PTAを対象とした人権教育研修会を開催する。また、学校ごとのPTAで行う人権教育研修における資料提供や外部講師謝礼金の補助を行う。				継続
<b>現状と課題</b>	定期的な主催研修会の実施や学校園ごとのPTAによる人権教育研修の開催支援により、PTAを対象とした人権学習の機会の提供に努めてきた。人権課題の多様化・複雑化を踏まえ、より主体的な研修の場となるよう、研修内容の充実を図るとともに研修方法等の工夫を行っていく必要がある。				
<b>今年度の重点</b>	社会の動向や保護者のニーズに合った研修内容を設定する。また、新型コロナウイルス感染症による影響を考慮し、YouTubeでの研修を実施するなど、研修方法等を工夫し、学習機会を確保する。				

事業名	スクールランチセミナーの充実	担当課	保健体育課	予算額 (千円)	—
<b>事業の概要</b>	食生活に関心をもたせるとともに、望ましい食習慣を身に付けることができるようにするために、中学校区や学校単独で栄養教諭・学校栄養職員が中心となり、小学校1年生～中学校3年生の子どもと保護者を対象に食育活動を実施する。				継続
<b>現状と課題</b>	食育を推進するために、学校だけでなく家庭や地域と連携して、平成5年度から実施している。平成18年度からはテーマを「朝ごはん」に関わりをもたせる内容とし、中学校区や各学校の実態に合わせたスクールランチセミナーに取り組んでいた。しかし、朝食を毎日食べる子どもの割合は目標値に達していない。そして、本事業は、令和2年度と令和3年度は、新型コロナウイルス感染症予防対策として実施できなかった。そのことを踏まえ、今後、集合型の調理実習をメインとした取組から、メディアを活用した食育セミナーに形をかえる必要がある。				
<b>今年度の重点</b>	スクールランチセミナーの実施において、家庭、地域社会と連携し、本事業で調理への興味をもたせ、食に関する指導で望ましい食習慣の知識を学び、子ども自身の生活を見直すことができる活用力を育成できるようにする。				



事業名	家庭教育支援事業	担当課	生涯学習課	予算額 (千円)	633
<b>事業の概要</b>	リーフレットの配布や、研修会等への家庭教育支援アドバイザーの派遣など、家庭教育の重要性について周知を行い、保護者の主体的な取組を促進する。 社会全体で家庭を支援していく意識の醸成を目指し、家庭教育支援団体が集まって、保護者への情報・相談機会の提供、団体同士の情報交換を行うイベントを開催する。				継続
<b>現状と課題</b>	家庭教育や子育てを啓発・支援する取組を行ってきたが、子どもに関する課題が複雑化・多様化し、家庭環境も大きく変化する中、家庭の教育力の低下が課題となっている。このことを踏まえ、今後、保護者に対する学習の機会や情報を提供する場の確保をより進める必要がある。				
<b>今年度の重点</b>	家庭教育を支援し、保護者の家庭における教育力の向上を図ることにより、子どもの社会性を育み、自立に向かって成長する子どもを支援する環境づくりを行う。 そのため、家庭で身に付けてほしいことなどを保護者に周知・啓発するとともに、家庭教育に関する学習機会の提供や家庭教育支援団体相互のネットワーク強化等を通じて、家庭教育を支援していく社会づくりを進める。				

事業名	絵本の読み聞かせ事業	担当課	中央図書館	予算額 (千円)	—
<b>事業の概要</b>	1歳くらいまでの赤ちゃんとその保護者を対象に、中央図書館、幸町図書館、瀬戸町図書館では定期的に、また西大寺緑花公園緑の図書室では随時絵本の読み聞かせ体験を開催し、読み聞かせの楽しさやふれあいの時間の大切さを保護者に伝えている。 絵本の読み聞かせやふれあい遊びだけでなく、読み聞かせの方法やそのポイントについて説明するとともに選定した絵本の紹介や絵本の選び方、読み聞かせに関するアドバイスを参加者に配布し、読み聞かせの楽しさやふれあいの時間の大切さを保護者に伝えるとともに、家庭でも読み聞かせを行ってもらう。				継続
<b>現状と課題</b>	令和3年度も新型コロナウイルスの感染拡大により行事の中止が続き、目標とする参加者数には到達しなかったが、参加者からの満足度は高かった。 絵本の紹介パンフレット配布などで、対面以外のことでも読み聞かせの大切さや絵本の良さを伝えていくことができた。アンケートでは実施継続希望も多かったため、新しい生活様式のもと、さらに家庭でのふれあいの大切さを伝えていく必要がある。 参加者アンケートには継続開催や回数を増やすことを望む声が寄せられた。令和3年度は開催回数が少なかったため、来年度は新型コロナウイルス感染拡大防止に努めながら、できるだけ開催回数を増やしていきたい。また、現在行っている館以外の図書館でも、開催できるよう準備調整を行いたい。				
<b>今年度の重点</b>	コロナ禍の中で行事の開催は難しい部分もあるが、教育大綱での「育む5つの力」を身に付けていくために小さな頃から保護者と一緒に絵本やわらべ歌にふれあうことが大切だと考え、本事業をできるだけ継続的に進めていくことに重点をおく。 また、「赤ちゃん楽しいひとときを」「子ども楽しいひとときを」などの絵本の紹介パンフレットの配布などを通して、絵本の紹介や選び方のコツ、読み聞かせの大切さなどを伝える。				

事業名	子育て支援「のびのび親子広場」事業	担当課	幼保運営課	予算額 (千円)	107
<b>事業の概要</b>	子育て支援の一層の充実を図るため、市立幼稚園・認定こども園の施設を開放し、未就園児が園庭で遊んだり、保育活動に参加したりすることができる機会を提供する。 安心して子育てができるよう、保護者の不安や悩みに応える子育て講座・子育て相談等の実施や、子どもの発達や子育ての様々な情報の提供を行う。				継続
<b>現状と課題</b>	地域に根差した子育て交流の場として、市立幼稚園・認定こども園で計画実施しており、安全・安心な場の提供や、未就園児が園の施設に慣れることにつながった。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため保育活動を変更・中止することもあった。今後も、感染症対策を講じながら、各園の実情により、できることを工夫しながら進めていく必要がある。				
<b>今年度の重点</b>	子育て支援の一層の充実を図るために、未就園児が園の保育活動に参加できる機会の提供や施設を開放するとともに、保護者が安心して子育てができるよう、子育て講座や子育て相談等を実施し、子どもの発達や子育ての様々な情報を提供していく。				

## ■ 施策6-2 地域社会の教育環境の充実

### 施策の方向性

- 地域学校協働活動推進員を通して学校支援ボランティアの活動を充実するなど、地域ぐるみで学校園を支える体制づくりを進めるとともに、地域の教育力向上を図ります。
- 社会教育施設等を活用し、地域の多様な人々と連携し、学びを通じた持続可能な地域づくりの取組の充実を図ります。

### ◆ 生涯にわたって学び続ける機会と場の充実

事業名	インターネット予約図書事業	担当課	中央図書館	予算額 (千円)	9,845
事業の概要	平成28年7月から高松・福田公民館で、10月から高島公民館で、平成31年3月に新たに吉備・操山公民館を加え実施している。				拡充
現状と課題	高松・福田・高島・吉備・操山公民館の5館で引き続き事業を実施するとともに、令和4年度中に上道公民館へ導入する。実施館の成果と運用方法・コスト面などを踏まえながら、今後、市民がインターネット予約をより効果的に活用できるようにするための方策を検討していく。				
今年度の重点	移転・新築された上道公民館に同事業を導入し、地域拠点としての機能を高め、子ども・家族など多世代の市民が図書資料をより利用しやすい環境を整える。				

事業名	図書館業務システム活用による市民サービスの向上	担当課	中央図書館	予算額 (千円)	18,015
事業の概要	平成31年度に新たな図書館業務システムに更新し、安定稼働や信頼性を確保した。また、更新時に吉備・操山の2公民館にシステムを導入し、インターネット予約受取公民館を拡充するなど利便性の向上を図っている。				継続
現状と課題	引き続き図書館業務システムの安定稼働に努めるとともに、検索や予約などの機能を利用者に分かりやすくご案内する。また、インターネット予約図書事業が円滑に進むよう公民館のサポートを行う。				
今年度の重点	子どもたちが自ら読みたい本、知りたい事を図書で調べることができるよう、より使いやすい電算システムとするため、安定稼働とともに、機能が分かりやすく伝わるような案内としていく。子どもたちにとって使いやすいものとしていくことで、同時に高齢者やこれまで端末予約等をしたことのない市民の利用促進にもつなげていく。また、これまでインターネット予約受取公民館のなかった東区において、10月から上道公民館でサービスを開始することで、より身近な場所で利用してもらえるようにする。				

事業名	連携中枢都市圏図書館相互利用	担当課	中央図書館	予算額 (千円)	3,068
<b>事業の概要</b>	<p>平成29年11月から、岡山連携中枢都市圏に参加する自治体のうち、4市4町(玉野市、備前市、赤磐市、真庭市、和気町、早島町、美咲町、吉備中央町)と、図書館相互利用(図書の貸出等)を実施する。平成30年10月より瀬戸内市、平成31年4月から津山市が参加している。</p> <p>平成31年1月から相互返却(借りた図書館以外の図書館への返却)を開始している。</p>				継続
<b>現状と課題</b>	<p>令和3年4月より、久米南町も相乗し、7市5町で相互返却を含めた相互利用を実施している。コロナ禍で令和2年度・令和3年度の利用が伸びていないが、コロナ禍前のように利用の伸びにつながるような取組をしていく必要がある。</p>				
<b>今年度の重点</b>	<p>身近な図書館だけでなく、多くの図書館に行って利用してもらうことで、新しい資料の発見や、様々な図書館の活用のしかたを知ってもらう。</p> <p>岡山市立の利用以外にも連携市町に魅力的な図書館があることを知ってもらい、新しい利用者を増やしていく。</p>				

事業名	公民館ESD・SDGs活動推進事業	担当課	生涯学習課	予算額 (千円)	3,000
<b>事業の概要</b>	<p>地域の文化や環境を守り発展させ、将来へつなぐというESDの視点から、防災・環境保護・多文化共生・食の安全・子育てなどの身近な暮らしをテーマにした講座やワークショップを開催する。また、市内の公民館間をはじめ地域内外のESDの取組の交流をはかることで、地域コミュニティにおけるESDの取組の推進をはかる。さらに2014年の世界会議の成果を継承し、グローバルな視野をもった公民館活動を行うため、web会議システムを活用して海外の社会教育関係者と住民とで、お互いの実践を高め合い学び合う交流を行う。</p>				継続
<b>現状と課題</b>	<p>岡山市の地域におけるESD推進の拠点として事業の改善を図り、公民館基本方針の中にもESDの視点を盛り込んでいる。全公民館で地域ESD講座、地域再発見フィールドワーク、地域ワークショップを開催を実施してきた。また、関係機関とともに、ESDに関する交流会や学習会を企画し、多様な主体と協働した取組を進めている。</p> <p>ESDの理念に基づく学習は、公民館活動全般にかかるものであり、また、多様な関係者がいることから、様々な連携を図りながら行うことが必要である。</p>				
<b>今年度の重点</b>	<p>地域におけるESDやSDGsに関する講座の継続的な実施をする。</p> <p>公民館基本方針重点4分野「地域づくり」「地域防災」「地域福祉・共生」「若者の地域参画」をテーマにした持続可能な社会づくりについて学び市民参加の学習会(公民館大会)の実施をする。</p>				
<b>他局との連携</b>	<p>市民協働局SDGs・ESD推進課(岡山ESDプロジェクトに伴う各種団体との事業連携、SDGsフォーラム)、市民協働企画総務課(市民協働推進事業の連携、課題解決ワークショップ)、国際課(多文化共生、友好都市交流事業)、市民生活局(消費者教育エシカル講座)など</p>				

事業名	公民館運営事業(公民館基本方針の推進)	担当課	生涯学習課	予算額 (千円)	—
<b>事業の概要</b>	<p>「岡山市立公民館基本方針」に基づき、「地域づくり」「地域防災」「若者の地域参画」「地域福祉・共生」の4分野を、重点分野と位置付け、複数の講座や実践活動を連動させたプロジェクト型の取組として重点的に進める。また、あわせて「環境」「人権・男女共同参画」「健康づくり」「子育て」「長寿社会」「地域のICT」の6分野の講座の企画・運営を全館で行う。事業実施にあたっては、開かれた公民館づくりをめざし、市民や関係団体との連携をはかり、持続可能な社会づくりに貢献する公民館を目指す。公民館振興室では、先導的な事業を企画し、基本方針推進を図る。</p>				継続
<b>現状と課題</b>	<p>全市的な社会課題である10の分野について、各館で主催講座として各1事業以上取り組み、地域課題解決に向けた学習機会を提供するとともに、市民自身が課題解決力を習得できるような講座を行っている。特に、「地域づくり」「地域防災」「若者の地域参画」「地域福祉・共生」の4分野を重点分野と位置付け、目標を明確化して、取組の充実を図っている。</p> <p>重点分野に位置付けた取組を、持続可能な人づくり、地域づくりにつなげていくためにも、新型コロナウイルス感染症の影響で縮小した地域の社会教育活動を取り戻すことが必要である。</p> <p>また、急速に進む地域サービスのDX利用(オンライン会議システム等)など、基本方針策定時にはなかった課題への対応も必要になっている。</p>				
<b>今年度の重点</b>	<p>「地域づくり」「地域防災」「若者の地域参画」「地域福祉・共生」の重点4分野の取組を進める。今日的な地域社会の課題やニーズに応じた事業を行い、公民館で学習や地域活動を行う人を増加させる。</p> <p>新たなICT技術などを活用し、講座や参加者の多様化を図る。</p>				
<b>他局との連携</b>	<p>講座や地域活動支援で関係する各局(市民協働局[さんかくウィーク、やさしい日本語講座、災害ボランティア養成講座]、保健福祉局[生活支援サポーター養成講座、地域共生計画に基づく協議体、健康市民21事業]、危機管理室[防災講座]、市民生活局[消費生活講座、文化芸術活動推進など]、環境局[ごみリサイクル月間]、岡山っ子育て局[こども食堂、防災キャンプ]、産業観光局[スマホ講座]、政策局[地域におけるICT普及]など</p>				

事業名	新成人の集い事業	担当課	地域子育て支援課	予算額 (千円)	11,459
<b>事業の概要</b>	<p>平成12年度から当該年度に二十歳を迎える新成人を構成員とした実行委員会を組織し、自らの節目となる成人式について、より積極的に考察しながら企画を立案し、当日運営まで実施している。</p> <p>年間約20回の実行委員会を開催し、当日の企画展示の内容や運営について準備し、当日は実行委員会のメンバーで式典を挙行している。</p>				継続
<b>現状と課題</b>	<p>例年、実行委員会に参加する人数が減少傾向にある。またコロナ禍における成人式の実施並びに実行委員会の開催についても制約が多く、開催方法や企画内容の変更を余儀なくされている。</p> <p>そこで、コロナ禍の令和3年度から実行委員会をオンラインでも参加可能とすることで、市内在住者だけでなく県外在住の対象者が実行委員会に参加できるよう配慮した。参加者からは「育ててもらった岡山市に恩返しをしたい」、「リモート授業ばかりで人とのつながりが希薄で、つながりを求めて参加した(学生)」という声があった。また市内各中学校に依頼し、卒業生の中から実行委員の候補者の推薦を頂き、人材確保につなげている。</p> <p>実行委員会をオンライン参加可能としたことで参加者は増えたが、市内在住者もオンライン参加をするなど対面参加者が少なかったこともあり、実行委員同士の関係は希薄になりがちだった。</p>				
<b>今年度の重点</b>	<p>コロナ禍における成人式の実施という身近で大きな課題に対して、様々な課題を整理し、実行委員同士の想いや考えを披露し、尊重し合いながら打開策を模索して企画を進める。また、コロナ禍における成人式として、来場できない人も含めて岡山市ゆかりの全ての対象者にとって、安心・安全で親しみ深い成人式をつくり上げていくことで、市民の理解と協力、祝福が得られる式典を目指す。</p>				



◆ 地域社会での健全な子どもの育成とその推進のための指導者育成の充実

事業名	子ども会リーダー・育成者研修事業	担当課	地域子育て支援課	予算額 (千円)	1,378
<b>事業の概要</b>	昭和41年度から、「子どもたちが自分たちの手でつくる子ども会活動」の実現のため、子どものリーダーの育成、育成者・指導者の研修等(インリーダー研修会、ジュニアリーダー研修会、育成役員研修会等)を行っている。球技指導者には、安全面・健康面を重視した研修に取り組むなど、ニーズに合った研修を実施している。				継続
<b>現状と課題</b>	子ども会活動の根幹として「人とのふれあい」がある。これはコロナ禍では実現が難しい場面が必然的に多くなる。いかに感染対策を行って実施していくのか、実施の方法を変更することも含めて課題となる。また、リーダー養成にあたり、ジュニアリーダーの活動場面も少なくなっているため、ジュニアリーダーになろうとする子どもたちの数も伸び悩んでいる。人材の確保も課題の1つと言える。				
<b>今年度の重点</b>	今後も刻々と変わる状況に対応するべく、教育に関わる情報収集を続け、今、必要とされているタイムリーな情報を扱う研修を行う。また、ジュニアリーダーについては、特に表現力に磨きをかけることができるように、自分の思いや考えを伝えること(もちろん仲間の思いや考えを聴けること)に意識を置いて取り組んでいく。				

事業名	放課後子ども教室推進事業	担当課	地域子育て支援課	予算額 (千円)	10,671
<b>事業の概要</b>	心豊かな子どもたちの育成を目指し、各小学校区で組織する実行委員会により、平日の放課後や学校休業日に、地域の方々の参画を得て、学校施設等を活用し子どもが安全・安心に過ごし学べる居場所を設け、体験活動や交流活動や学習支援活動の場を提供する。				継続
<b>現状と課題</b>	令和3年度は18小学校区で実施。継続して教室を開設するためには後継者の育成が不可欠であるが、指導者やボランティアの高齢化が進み、人材確保が難しくなってきている。				
<b>今年度の重点</b>	地域の多様な方の参画による、地域の中での多様な体験活動、交流活動、学習支援活動を通して、教育大綱で示される5つの力(活用力、表現力、向上心、社会性、人権尊重の精神)を育み、次世代を担う人材育成につなげる。				



事業名	わくわく子どもまつり	担当課	地域子育て支援課	予算額 (千円)	300
<b>事業の概要</b>	市民協働により、子どもたちへの豊かな体験活動の提供と、子育て情報の提供、子育て支援団体同士のネットワークの構築を目的に平成16年から継続して事業を行っており、毎年多くの子育て世代家族が参加している。青少年団体や子育て支援団体が、日頃の活動成果の発表や子育ての情報発信、遊び・体験活動の提供を行う。参加団体で構成されている実行委員会においてそれぞれの活動紹介や情報共有を行い、ネットワーク形成につながっている。				継続
<b>現状と課題</b>	コロナ禍で令和2年から2年連続で開催中止となり、感染防止対策を踏まえながら今後の開催形式や参加団体等を検討していかなければならない。また、中止以前と同様に参加団体、協賛団体を集められるかどうか不明であり、資金面の課題も大きいと考えられる。				
<b>今年度の重点</b>	青少年団体・子育て支援団体と連携し、事業実施に向けて協議を進め、コロナ禍でも開催できるよう企画し、子どもの体験活動や子育て情報の発信・交流の場とする。また、子育て支援に関わる市民・行政のネットワークをより強いものとし、地域の教育環境の充実へつないでいく。				
<b>他局との連携</b>	市民生活局生活安全課は消費生活に関するブース他、環境局環境事業課はゴミ収集車の展示ブース、保健福祉局保険管理課・高齢者福祉課、保健所健康づくり課は関係団体と共にブース運営、教育委員会(生涯学習課)は中央図書館や公民館関連団体でのブース運営という形で連携				

#### ◆ 生涯学習環境の充実・整備

事業名	公民館建設・整備事業	担当課	生涯学習課	予算額 (千円)	431,400
<b>事業の概要</b>	岡山市公共施設等総合管理計画個別施設計画に基づき、公民館施設の長寿命化を図る。具体的には、予防保全の考え方に基づき、計画的に建物改修工事や設備更新を行うとともに、バリアフリー化を行っていく。 老朽化し、耐震基準を満たしていない公民館については、公共施設等マネジメントの基本方針や地域の状況等を踏まえ、建て替えを行う。岡山中央中学校区の公民館については、岡山中央中学校区公民館建設事業に記載している。				継続
<b>現状と課題</b>	建物や設備の老朽化が進むことにより、雨漏り等が発生したり、空調が故障するなど、公民館運営に支障をきたすことから、早急な改修等の対応が求められている。また、誰もが利用しやすい施設のバリアフリー化や指定避難所としての設備の機能強化も求められている。 令和3年度の上道公民館建設の完了により、耐震化ができていない公民館は岡山中央中学校区の旭公民館のみとなっている。旭公民館の建て替えについては、令和3年度に建て替えに向けた地元協議が整ったため、基本設計に着手しており、引き続き詳細設計及び地元調整等を進めていく予定である。				
<b>今年度の重点</b>	老朽化が進んでいる施設の外壁や屋根・屋上等の改修や空調設備等の更新を行う。また、バリアフリー化を進めるためトイレの洋式化を行う。 岡山中央中学校区公民館について、令和3年度に作成した基本設計に続き、令和4年度は詳細設計の取りまとめを行う。				
<b>他局との連携</b>	改修内容検討、設計協議、工事施工等で都市整備局と連携を行う。				

事業名	図書館施設の改修及び修繕	担当課	中央図書館	予算額 (千円)	88,600
<b>事業の概要</b>	利用者の安全確保と図書や貴重資料の保護を目的に、市民サービスや施設劣化に影響のある緊急性の高い個所から優先的に改修・修繕を行う。				継続
<b>現状と課題</b>	築38年以上経過した中央図書館及び瀬戸町図書館の老朽化が進み、公共施設等マネジメントの観点からも施設の長寿命化は必須。平成27年の劣化調査も踏まえて、緊急性の高い個所から順次修繕を実施。同時に平成30年11月に策定した「岡山市公共施設等総合管理計画個別施設計画(図書館)」に基づき、計画的に改修・修繕を実施し、令和3年度には、中央図書館の長寿命化改修工事と瀬戸町図書館の照明LED化工事を実施した。この間に複合施設でも修繕が必要な箇所が出てきており、都度、安全確保を行っていく必要がある。				
<b>今年度の重点</b>	<p>情報を得るために、子どもたちが自ら図書館をより利用してもらえるよう、安全で使いやすい施設にしていく。</p> <p>コロナ禍の影響もあり、入札の不調や、半導体不足による部品調達遅れがあり、令和4年度も中央図書館の長寿命化改修が必要となっている。中央・瀬戸町以外の複合施設の図書館でも老朽化などにより、修繕が必要となっており、修繕を続けていく必要がある。</p>				

事業名	郷土資料の保存と活用	担当課	中央図書館	予算額 (千円)	879
<b>事業の概要</b>	古文書等の郷土資料について、それぞれの状態の把握と内容の理解に努め、優先順位を付けて適切な保存対策を講じていく。現在は資料の修理、保存箱の改善、脱酸性化処理、デジタル撮影を中心に行っている。保存措置を通じて資料が多くの人に利用されやすい状態になり、広く知られてアクセスしやすいようにしていく。				継続
<b>現状と課題</b>	市立図書館が所蔵する古文書、歴史的公文書、古地図、古写真等の郷土資料(2万点余り)について、戦中戦後の時期の劣悪な紙を使用した資料を中心に劣化が進んできている。保存状況の改善を進め、デジタル技術を利用して保存と利用拡大の両立をはかることが必要になっている。				
<b>今年度の重点</b>	<p>古文書等劣化が進む郷土資料を、脱酸性処理、裏打ち、デジタル化等それぞれの資料に応じた方法で保存し、今後も提供できるようにする。</p> <p>古文書等現物提供がしにくい郷土資料について、デジタルでの公開に向け、アーカイブ化計画を立てるとともに、メタデータの付与、画像処理などの作業をさらに進める。</p> <p>地域住民、学校関係者、子どもたちが、情報技術を活用し、地域情報にアクセスできるよう、郷土資料の組織化を進める。</p>				

事業名	夜間教室運営事業	担当課	生涯学習課	予算額 (千円)	2,850
<b>事業の概要</b>	不登校など様々な事情により十分な教育を受けられないまま中学校を卒業した人などを対象に、学び直しの場として夜間教室を開設し、義務教育課程の内容について学習支援を行う。				継続
<b>現状と課題</b>	<p>市内2カ所で夜間教室を開室し、一人一人の学びに寄り添った学習支援ができていますので「自分が学びたいこと、学びたかったことが学べる場」として来室者からの満足度は高い。</p> <p>課題としては、受講者が少ないことが挙げられる。学び直しに足が踏み出せないでいる人や、情報が届いていない人に対して効果的・継続的な広報が必要である。</p>				
<b>今年度の重点</b>	夜間教室についての広報を継続して実施し、様々な事情で十分な教育を受けることのできなかった人々に学び直し場と機会の提供を行うことで、教育を受ける権利を保障し、人権尊重の精神を育む。				

事業名	夜間中学設立準備検討事業	担当課	就学課	予算額 (千円)	1,000
<b>事業の概要</b>	<p>様々な事情により実質的に十分な教育を受けられないまま中学校を卒業した方などに対する学び直しの機会を確保することを目的とし、公立夜間中学設置について検討を進める。</p> <p>オープンスクールを開催することによる啓発活動やニーズ調査を実施する。</p> <p>外部有識者や関係団体の意見も聴きながら検討する。</p> <p>既に夜間中学を開設している自治体などの調査研究・視察を実施する。</p>				新規
<b>現状と課題</b>	<p>令和3年度に市内部の関係課による検討組織を設置し、検討を開始した。</p> <p>※第1回 令和3年11月18日開催 第2回 令和4年2月2日開催</p> <p>検討組織に参加する外部有識者の選定、他市町からの受け入れや通学の利便性等を考慮したうえで、学校施設を中心に設置場所を検討する必要があるほか、啓発、ニーズの把握が急務である。</p>				
<b>今年度の重点</b>	<p>令和2年度より、学び直しの場として夜間教室を開設し学習支援を行っているが、更なる取組として、夜間中学の設立を目指し、準備事業を実施する。</p> <p>オープンスクールを開催するなど啓発活動を推進し、あわせて入学対象となる者がどの程度いるか調査するとともに、設置場所の検討を重点的に進める。</p>				
<b>他局との連携</b>	<p>市民協働局、保健福祉局、岡山っ子育て局等の関係課に検討組織に加わってもらい、連携して検討を進める。</p>				

事業名	岡山中央中学校区公民館建設事業	担当課	生涯学習課	予算額 (千円)	53,700
<b>事業の概要</b>	<p>老朽化し、耐震基準を満たしていない岡山中央中学校区の旭公民館について、移転・建て替えを行う。移転先は岡山中央中学校の敷地内とし、中学校の武道場との合築による新たな施設の建設を予定している。学校敷地内に公民館を整備することにより、学校教育と社会教育との連携も一層進めようとするもの。</p>				新規
<b>現状と課題</b>	<p>旭公民館の建て替えに向けた地元協議が整ったため、令和3年度に基本設計に着手した。事業を進めるにあたり、岡山中央中学校との協議の他、地域住民を対象とした説明会・ワークショップ、学校の保護者説明会、旭公民館運営協議会への説明等を行い、事業への理解を求めるとともに、設計に中学校、地域住民、公民館利用者の意見を反映すべく調整を行った。令和4年度に行う詳細設計の段階においても、引き続き地元関係者等との協議・調整を行う必要がある。</p>				
<b>今年度の重点</b>	<p>詳細設計を行うにあたり、地元関係者等との協議・調整を行う。</p> <p>新施設において学校と公民館が協働して未来を担う子どもを持続的に育てていくことができるよう、学校との協議を引き続き行う。</p>				

## ■ 施策6-3 家庭、学校園、地域社会の協働体制の確立

### 施策の方向性

- 家庭、学校園、地域社会が協働して、未来を担う子どもを持続的に育てていくことができるよう、学校運営協議会の役割の理解促進と協議会の活性化に努めます。

#### ◆ 地域協働学校及び地域学校協働活動の活性化

事業名	地域協働学校の活性化と学校評価の充実	担当課	指導課	予算額 (千円)	75
事業の概要	<p>中学校区の各学校園に「学校運営協議会」を設置し、保護者や地域住民が学校運営に参画・評価できるようにする。</p> <p>中学校区で「連絡会」を開催し学校運営協議会における協議内容や取組等の情報共有や意見交換を行うことで、中学校区での子どもの育成に係る連携強化を図る。</p>				継続
現状と課題	<p>学校運営協議会を開催し、保護者や地域住民のニーズ等を反映した学校運営の基本的な方針等について決定した。取組については、学校園の自己評価に基づく学校関係者評価を実施し、評価・分析し、改善を図った。</p> <p>令和3年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、研修会や有識者の派遣は中止したが、学校運営協議会の意義や機能について説明資料を作成・配付し、資料の内容に関するアンケートを実施することで、学校運営協議会の協議内容や実施状況を把握したところ、実施回数や協議内容が十分とは言えなかった。今後は、1学期に学校運営協議会の協議題の設定について提案し、2学期以降に実施する学校運営協議会において実際に協議することとする。取組状況についてはアンケートを実施し、効果検証を行う。</p>				
今年度の重点	<p>協議内容が、教育大綱が示す資質・能力(活用力、表現力、向上心、社会性、人権尊重の精神)のうち、どの力の育成をねらうのか明確にして協議を行うことで、学校運営協議会委員への教育大綱の周知と協議の活性化を図る。</p>				
他局との連携	<p>岡山っ子育成局幼保運営課と連携し、幼稚園等に「学校運営協議会」の意義や機能について周知を図っている。</p>				

事業名	地域と学校協働活動推進事業	担当課	生涯学習課	予算額 (千円)	6,450
事業の概要	<p>幅広い地域住民の参画により、地域と学校が連携・協働しながら、地域全体で子どもの成長を支え、地域を創生する「地域学校協働活動」を推進する。</p>				継続
現状と課題	<p>地域と学校の連携・協働が進み、学校園の活性化につながっている。学校園を核として地域住民と子どもたちが関わりあうことで、子どもを共に育てる地域づくりが図られている。</p> <p>しかし、地域学校協働活動の充実と学校園の負担軽減には、地域と学校園の架け橋としての役割である地域学校協働活動推進員の増員が不可欠だが、担い手が不足しているため、事業実施学校園の拡充が進んでいない。地域協働学校との連携や事業内容・成果のPR、研修会の開催などで、地域学校協働活動推進員の担い手の発掘・育成を図る必要がある。</p>				
今年度の重点	<p>新規に地域住民の参画を得た学習支援活動である「地域未来塾」を公民館を拠点に実施することで、子どもと地域の大人がつながる場を提供し、地域学校協働活動推進員となる担い手の発掘・育成を図る。これにより、地域学校協働活動を活性化し、子どもが地域の様々な大人と交流する機会を増やすことにより社会性ととも自立する子どもの育成を支援する。</p>				

◆ 市民協働による人づくりを推進するための広報広聴活動の充実

事業名	広報広聴活動の充実事業	担当課	教育企画総務課	予算額 (千円)	4,717
<p><b>事業の概要</b></p>	<p>教育広報紙の発行やSNSによる情報配信による、教育委員会や学校等の特徴的な取組を紹介する。 各学校園の学校評価に関する調査と一体化させて行う「教育に関する総合調査」による、教育委員会が取り組む政策・施策の進捗の把握と、学校の業務負担軽減を図る。</p>				<p>継続</p>
<p><b>現状と課題</b></p>	<p>教育に関する総合調査では、アンケートの回収率が、調査開始から92.7%から94.9%までの間で推移し、その割合は高い水準で推移しているが、より高い精度で調査を行うためには、回収率をさらに上げる必要がある。 教育広報紙を学校園を中心に広く配付しているが、読者の興味・関心を表す指標でもある読者アンケートの提出者数が多いとは言えず、より読者の興味・関心を引いてもらえるような構成を考える必要がある。</p>				
<p><b>今年度の重点</b></p>	<p>教育大綱で示した「育む5つの力」や第3期教育振興基本計画の指標に合わせ、「岡山市教育に関する総合調査」の質問項目を見直し、各政策・施策の成果を総合的に計る指標として、積極的に活用する。 教育広報紙「こらぼ」においては、第3期教育振興基本計画で取り組む各政策について、その目的や教育委員会及び学校園等の取組について、保育園・幼稚園・認定こども園・小学校・中学校・義務教育学校・高等学校の保護者を中心とした市民にわかりやすく紹介し、教育への関心と市民協働の学校運営への参加意識を高めるとともに、家庭・地域社会の教育力の向上を目指す。</p>				



### (3) 事業目標主要一覧

※ 有用感や満足度等の割合については、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の回答を合わせた割合としています。  
 ※ 「R4末目標値」には、事業の内容によって、数値ではなく進捗状況等の「状態」を記述したものが一部あります。

施策	事業	指標	R2末実績値	R3末実績値	R4末目標値
施策1-1 一貫した学 びの推進	岡山っ子スタート・サポート事業	支援員の配置によって、円滑な義務教育のスタートや、つまずきの早期発見・早期解消に役立ったと感じる実施校の割合(教員評価)	97.1%	98.4%	100%
	習熟度別サポート事業	習熟度別サポート事業によって、より個々の実態に応じた授業ができていると感じている実施校の割合(教員評価)	88%	86.7%	95%
	英語教育推進事業	CEFR A1レベル(英検3級)相当以上の英語力を有する生徒の割合	41.9%	42.6%	50%
	特色ある学校教育活動推進事業	「児童生徒の姿や地域の現状等に関する調査」や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立した学校の割合		小 96.6% 中 94.7%	小 100% 中 95%
	学びづくり推進プロジェクト	「子どもが輝く学びづくりプロジェクト」3年次校への指導主事の指導・助言回数			1校あたり平均3回以上
	教育課題別研究事業	教育課題別研究の成果物を利用した学校の割合	98.4%	82.8%	99%
	就学前教育の充実	「幼児の学びを豊かにするために、意図的・計画的に研修の場や機会等の環境を整え、保育の改善を図っている」と答えた教員の割合(最上位)	77.3%	78.3%	80%
施策1-2 豊かな学習 資源の活用 推進	図書資料等の活用推進	学校図書館運営計画(経営計画)の作成率			100%
	ICTを基盤とした情報活用能力向上事業	授業でコンピュータなどのICTを毎日使用する子どもの割合		小 4.4% 中 4.7% (R2)	小 100% 中 100% (R3)
	学校支援ボランティア事業	ボランティア登録者数	6,647人	6,533人	7,500人
		学生ボランティア活動回数(のべ)	3,308回	2,829回	7,000回
施策2-1 思いやりの 心や規範 意識、向上 心の育成	心豊かな子どもの育成事業	「あの人の生き方に学ぶ講演会」で、「児童生徒の思いやりや規範意識、向上心等の育成につながった」と回答した実施校の割合	未実施※	100%	100%
	岡山キャリアスタートウィーク事業	協力事業所数		1,200カ所	2,000カ所
	犬島自然の家における体験プログラムの充実	新規プログラム作成数			2
	めだかの学校における体験展示の充実	新たな体験展示数			2展示
	子ども読書活動の推進	児童書の貸出冊数	111万冊	99万冊	125万冊
		行事参加人数(のべ)	1,371人	1,734人	11,250人
	オリエント美術館体験講座	ジュニアオリエント教室をはじめ、各種ワークショップへの小中学生の参加者数	4人	81人	600人
	岡山市ジュニアオーケストラ運営事業	年2回の演奏会の観客動員数の合計	373人 年1回のみの開催	407人 年1回のみの開催	2,400人
わくわく探険隊	「活動を通して仲間と協力することの大切さを学ぶことができた」と回答した参加者の割合	中止※	85%	86%	
	「自然体験活動を楽しむことができた」と回答した参加者の割合	中止※	95%	95%	

施策	事業	指標	R2末実績値	R3末実績値	R4末目標値
施策2-2 岡山を愛する心と国際感覚の育成	ESDに係る地域と連携した取組の推進	学校教育基本計画の中に、ESDの推進を位置付けている学校の割合	100%	100%	100%
		自分たちの住んでいる地域に興味や関心がある子どもの割合	55.7%	56.4%	60%
	文化財及び埋蔵文化財の発掘調査成果の活用	文化財の現地公開や文化財をテーマにした講座などへの参加人数	520人	23,297人	26,800人
	史跡公有化の推進	公有化達成比率	60.5%	62%	63%
	史跡保存整備事業	整備事業完成比率	72%	77%	82%
	オリент美術館特別展等の開催	特別展の小中学生の入場者数	改修工事のため未実施	改修工事のため未実施	1,000人
	オリент美術館と県立美術館等との共同事業	半券(割引)入館者数(2館)	218人	休館	1,100人
施策3-1 体力づくりの充実と安全教育の推進	実践的安全教育総合支援事業	アドバイザー派遣対象校の満足度	100%	100%	80%
	学校保健事業	薬物乱用防止教室の実施率	未実施※	61.7%	100%
	運動習慣定着化事業	1週間の総運動時間が60分未満の子どもの割合(中2男子・女子)	未実施※	中2男子8.2% 女子17.8%	中2男子7.9% 女子21.2%
		体育の自主学習を含め、運動習慣定着化に向けた取組を実施している学校の割合	100%	100%	100%
	子どもの命を守る取組の推進	応急手当普及員が在籍する学校の割合	97.6%	100%	100%
防災キャンプ推進事業	防災キャンプ推進事業の参加者数(児童生徒)	145人	133人	240人	
施策3-2 食育の推進	学校給食における食育の推進	「食に関する指導が学校全体で計画的に実施できた」と回答した学校の割合	86.6%	90.6%	95%
	客観的な数値を活用した食育事業	「実態把握(データ)や身体測定値等の客観的な数値をもとに、食に関する指導を行った」と回答した学校の割合	69.3%	86.6%	90%
施策4-1 一人一人を大切に した 集団づくりの推進	就学援助事業	全児童生徒に対する就学援助認定状況	14.5%	14.9%	—
	スクールカウンセラー配置事業	スクールカウンセラーの相談件数	12,808件	12,045件	13,000件
	不登校児童生徒支援員配置事業	不登校児童生徒支援員配置に関するアンケートにおける「非常に効果があった」と回答した割合	小92% 中84%	小92% 中81%	小95% 中90%
		1年間で、10日以上欠席したことがある子どもの割合	4.6%	5.9%	6.0%以下
	教育支援アドバイザー配置事業	配置校において、「自校の教育課題の解決に向けて、連携・協力して組織的に取り組んでいる」と回答した教職員の割合	82%	81.8% R3年度末	90%
	生徒指導関係事業	「質問紙調査の活用が集団づくりに有効であった」と回答した学校の割合	95.0%	93.8%	100%
	いじめ専門相談員派遣事業	学校等への派遣回数(のべ)	24回	34回	80回
	問題行動等対策事業	定例会の開催回数	3回	3回	3回
施策4-2 一人一人の課題に応じた きめ細かな支援	日本語指導講師派遣事業	日本語指導を受けたことにより、日常生活に必要な日本語が身に付いた子どもの割合	100%	100%	100%
	共に生きる子どもを育てる障害児支援事業	「学校に行くのが楽しい」と答えた特別支援学級に在籍する子どもの割合	小 78% 中 70%	小 78% 中 73%	小 85% 中 85%
		「自分には良いところがある」と答えた特別支援学級に在籍する子どもの割合			小 85% 中 85%

施策	事業	指標	R2末実績値	R3末実績値	R4末目標値	
施策5-1 教職員の資 質能力の向 上と支援体 制の充実	学校業務アシスト 事業	「子どもと向き合う時間の確保につながった」と回答した教員の割合	94.9%	93%	100%	
	魅力ある教員の確 保事業	岡山市公立学校教員採用候補者選考試験出願者数	730人	666人	800人	
	学校問題解決サ ポート事業	本事業が解決困難な課題の解決に役立っていると感じている学校の割合(相談を受理した学校に対して)	96%	94%	100%	
	学校園における 人権教育の充実	教職員の姿勢について、人権教育推進状況報告書(岡山市)での肯定的回答の割合	100%	100%	100%	
		人権教育推進報告書(岡山市)において、「人権課題を取り上げた授業等を行った」と回答した学校の割合			100%	
	部活動指導員配 置事業	顧問の負担軽減率	91.1%	84.0%	100%以上	
	学校給食費の公 会計化	公会計化の移行			制度設計	
	ICT活用指導力向 上事業	子どものICT活用を指導することができる教員の割合	68.3% (R元)	66.4% (R2)	75% (R3)	
	教職員の力量を 高める教育研究 事業	研究成果物を利用した学校の割合	88.7%	64.8%	90%	
	英語指導力向上 のための研修プロ グラム	研修後に実施する受講者評価において、「研修が授業改善に役立った」と回答した受講者の割合	88.0%	未実施※	90%	
施策5-2 安全・安心 で快適な教 育環境の整 備	OJT若手教員育 成支援プロジェクト	支援終了後に行うアンケートによって、支援が「大変効果的だった」と回答した教員の割合	78.7%	87.5%	90%	
	教職員研修事業	「研修のねらい達成のために、研修がとても役立った」と回答した受講者の割合	76.1%	75.2%	82%	
	学校施設長寿命 化改修事業	令和7年度までの事業1期6年間で達成する目標100%とした各年度の割合	16.7%	33.3%	50.0%	
	義務教育学校施 設整備事業	すべての施設が完成するまでの工事費総額に対する完了部分工事費額の割合	39.7%	94.6%	100%	
	学校空調設備整 備事業	全ての市立学校の教室等(管理諸室を含まない)の総数に対する空調設備整備済の教室等の割合	59.1%	59.1%	59.1%	
	学校図書館の充 実	図書標準を達成している学校の割合(緑ヶ丘中を除く)	100%	100%	100%	
	学校給食施設整 備事業	新岡山学校給食センター整備		事業用地 取得	土地造成 PFI事業公 告	
	ICT環境整備事 業	大型提示装置の更新			小学校高学年 普通教室 (特支除く)	
	施策6-1 家庭の教育 力向上への 支援	PTAにおける人権 教育の充実	人権教育室主催研修受講者アンケートでの肯定的回答の割合	未実施※	95.2%	100%
		スクールランチセ ミナーの充実	「セミナーで学んだことを自らの食生活に生かしたい」と回答した参加者の割合	未実施※	未実施※	95%
家庭教育支援事 業		家庭教育支援アドバイザー派遣回数	5回	5回	25回	
		家庭教育支援アドバイザーによる研修会等の参加者の満足度	99%	99%	100%	
絵本の読み聞か せ事業		行事の参加人数	163人	164人	1,200人	
		参加者の満足度	100%	100%	99%	
子育て支援「のび のび親子広場」事 業	「地域の子育てを支援していく役割を果たしている」と回答した園の割合	47%	49%	60%		
	「地域における子育てで家庭に対する支援を工夫しながら、子育てを支援していく役割を果たしている」と答えた園の割合			60%		

施策	事業	指標	R2末実績値	R3末実績値	R4末目標値
施策6-2 地域社会の 教育環境の 充実	夜間中学設立準備検討事業	準備検討の進捗状況			設置場所・入学要件の決定
	公民館建設・整備事業	岡山中央中学校区公民館建設の進捗状況		基本設計完了、詳細設計着手	詳細設計完了
		トイレ洋式化率	59.2%	64.3%	68.4%
	夜間教室運営事業	充実した学びの場となっていると感じている生徒の割合	100%	100%	100%
	公民館ESD・SDGs活動推進事業	公民館大会、または、基本方針と関連するSDGs・ESDの学習会の参加者数	160人	280人	250人
		海外のCLC・ESD関係者とのweb会議システム等を使った交流回数		1回	2回
	公民館運営事業(公民館基本方針の推進)	公民館主催講座・クラブ講座における利用者数(のべ)	385,172人	309,000人	492,000人
		公民館基本方針重点分野の事業への参加者数	22,375人	22,521人	35000人
		オンライン会議システムを活用した主催事業数	21回	108回	120回
	岡山中央中学校区公民館建設事業	岡山中央中学校区公民館建設の進捗状況		基本設計完了、詳細設計着手	詳細設計完了
	郷土資料の保存と活用	資料のデジタル撮影コマ数(H26～)	106,843枚	108,212枚	140,000枚
		資料のウェブ公開点数(R2～)	17点	41点	1,000点
	図書館施設の改修及び修繕	個別施設計画に基づく改修進捗状況	9%	48%	65%
		不具合箇所の改修実施状況	15%	27%	42%
	インターネット予約図書事業	インターネット予約図書公民館数	5館	5館	6館
	連携中枢都市圏図書館相互利用	住民一人当たりの貸出冊数	5.5冊	4.9冊	6.1冊
	図書館業務システム活用による市民サービスの向上	個人登録者数	48,276人	44,932人	64,500人
	子ども会リーダー・育成者研修事業	「育成役員研修会に参加して有意義であった」と回答した参加者の割合	中止※	中止※	85%
		「インリーダ研修会に参加して有意義であった」と回答した参加者の割合	80%	中止※	85%
		「ジュニアリーダー研修会に参加して有意義であった」と回答した参加者の割合	80%	中止※	85%
わくわく子どもまつり	わくわく子どもまつり参加団体数	中止※	中止※	15	
放課後子ども教室推進事業	実施小学校区数	19小学校区	18小学校区	23小学校区	
新成人の集い事業	新成人の集い参加率	中止※	75%	72%	
	実行委員会構成員数	9人	20人	15人	

施策	事業	指標	R2末実績値	R3末実績値	R4末目標値
施策6-3 家庭、学校 園、地域社 会の協働体 制の確立	広報広聴活動の 充実事業	教育に関する総合調査のアンケート回収率		93.5%	93.9%
	地域協働学校の 活性化と学校評 価の充実	学校運営協議会の実施回数(小中学校123校×3回)	313回	324回	369回
	地域と学校協働 活動推進事業	実施学校園の割合	29.8%	30.3%	36%
		本事業によって地域学校協働活動が充実したと感じて いる学校園の割合	91.3%	82.4%	100%

※新型コロナウイルス感染症対策により調査等が中止となったため、数値が判明していない項目



(参考)

★第3期岡山市教育振興基本計画における政策の評価指標一覧

※ 有用感や満足度等の割合については、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の回答を合わせた割合としています。

政策	指標	基準値(R3)	岡山市教育振興基本計画 R7最終目標値	R4実績値	R5実績値	R6実績値	R7実績値
1 主体的な学びの推進による確かな学力の育成	校長による週2回以上の授業参観の徹底	小 97.8% 中 94.7%	小 100% 中 100%				
	「学校内外の人材の活用により子どもの総合的な学力が伸びてきている」と答えた保護者の割合	78.3%	80.3%				
	授業でコンピュータなどのICTを毎日使用する子どもの割合	小 4.4% 中 4.7%	小 100% 中 100%				
	CEFR A1レベル(英検3級等)相当以上の英語力を有する生徒の割合	43.3% (R2)	50%				
2 人や自然、文化との関わりを通じた豊かな心の育成	「今住んでいる地域や岡山市の歴史や自然に関心がある」と答えた子どもの割合	小 62.4% 中 50.0%	小 69.5% 中 57.9%				
	「外国の人に話しかけられたら、進んでそれに答える」と答えた子どもの割合	小 60.1% 中 57.8%	小 64.1% 中 61.8%				
	文化財施設・講演会等への来訪者数	26,615人 (R2)	47,300人				
3 健康教育の充実による健やかな体の育成	1週間の総運動時間が60分未満の子どもの割合	中2男子 8.5% 中2女子 19.7%	中2男子 7.0% 中2女子 19.0%				
	「朝食を毎日食べると」答えた子どもの割合	83.2%	100%				
4 一人一人の育ちを支える指導・支援の充実	「学校に行くのが楽しい」と答えた子どもの割合	小 84.2% 中 82.7%	小 90.0% 中 88.0%				
	「自分には良いところがある」と答えた子どもの割合	小 79.8% 中 79.3%	小 85.0% 中 80.0%				
	児童生徒1,000人当たりの暴力行為の発生件数	小 8.3件 中 12.7件 (R2)	小 6.5件 中 7.7件 (R6)	以下			
	いじめの解消率(いじめの認知件数に対する解消率)	66.7% (R2)	77.4% (R6)	以上			
	不登校の出現率	小 1.14% 中 3.40% (R2)	小 0.82% 中 2.80% (R6)	以下			

政策	指標	基準値(R3)	岡山市教育振興基本計画 R7最終目標値	R4実績値	R5実績値	R6実績値	R7実績値
5 学校園の教育環境の充実	「学校の授業は分かりやすく楽しい」と答えた子どもの割合	小 83.3% 中 75.5%	小 87.0% 中 82.0%				
	「子どもと向き合う時間が充足している」と答えた教職員の割合	56.5%	61.0%				
	「学校園は、学びやすい環境づくりや安全などに配慮して施設・設備を整えている」と答えた保護者の割合	92.7%	95.9%				
6 家庭、地域社会の教育環境の充実	「年齢に応じた役割を子どもに与えている」と答えた保護者の割合	78.9%	81.7%				
	市立図書館の市民1人当たりの年間貸出冊数	5.4冊 (R2)	6.4冊				
	公民館主催講座・クラブ講座における利用延べ人数	384,961人 (R2)	738,000人				
	地域協働学校の学校運営協議会の開催回数	平均2.46回 (R2)	平均3回 以上				
	公民館基本方針重点分野の事業への参加者数	22,000人 (R2)	62,000人				

## ★第2期岡山市教育大綱における評価指標及び目標

### 育む5つの力を測る評価指標

指標	基準値(R1)	目標値(R7)	R4実績値	R5実績値	R6実績値	R7実績値
自分の考えを整理して伝えることができる児童生徒の増加【全国学力・学習状況調査の記述式問題の正答率の対全国比を1以上にする。】	小 97.8% 中 94.7%	小 100% 中 100%				
情報を収集し、考えをまとめて発表している児童生徒の増加【探究的な学習をしていると感じる児童生徒の割合を全国平均レベル以上にする。】	小 97.8% 中 94.7%	小 100% 中 100%				
協力しようとする児童生徒の増加【協力して取り組んだことがうれしいと感じる児童生徒の割合を基準値(R1)から5ポイント以上上昇させる。】	小 97.8% 中 94.7%	小 100% 中 100%				
人を大切にできる児童生徒の増加【人が困っているときに進んで助けると考える児童生徒の割合を基準値(R1)から5ポイント以上上昇させる。】	小 97.8% 中 94.7%	小 100% 中 100%				

### 基礎としての2つの目標

指標	基準値	目標値(R7)	R4実績値	R5実績値	R6実績値	R7実績値
全国平均レベル以上の学力【全国学力・学習状況調査の偏差値50以上(英語を含む)】	小6 国51 算50 中3 国50 数50 (R1)	50以上				
新規不登校児童生徒の減少【新規不登校児童生徒(小・中合計)の出現率0.47%以下】	0.74% (H30)	0.47%以下				